



第五十二回

旭川北高等学校同窓会

北高魂



旭川市中・市高 北高同窓会 総会・懇親会

と き／2017年8月12日(土) 午後6時より

と ころ／旭川グランドホテル 3階グランドホール
〈旭川市6条通9丁目〉



市中



市高



北高

主催/第52回旭川北高等学校同窓会実行委員会

校 歌

明るく普通の速さで

mf

1.あ た ー ら し ー き ぶ ん か り ー の は な の さ
3.か た ー わ し ー き み ど り ー の ゆ う の べ さ

ん ー ら ん と の や が て か お ら む み
く ー よ う の き ば な さ く あ さ み ま

p

ず ー き ー よ ー く や た ま ー む ら さ き ら に め
ゆ ー ひ ー い ー で た ま ー す む こ ら が ま

f *allargando* *a tempo*

ぐ ー り ー た ー る ま な び の に わ よ あ
ど ー い ー し ー て ほ な れ を う た う み

f

ふ る る よ ろ こ く び い ざ て を と り て や
よ ゐ ゑ そ こ の ゆ く て は あ ら た や

ff

む な き ー あ ゆ み に ま こ と り を と め む
む な き ー の ぞ み に ひ か

校 歌

木村五一 作詞
津田 甫 作曲

一、
あたらしき文化の華の
燦爛とやがて薫らむ

水清く山紫に
めぐりたる学びの庭よ

溢れる歓喜いざ手を把りて
止むなき向上に真理を求めむ

遠つ代の祖に承けたり
汗あゆるその勤勞の
成せる郷土豊けき穰

とこしへ栄行くこの世に生きて
止むなき教養清純を讃めむ

三、
かぐはしき緑の夕
白瑤の樹水咲く朝

眉秀で魂澄む子等が
まどろして誉を謳ふ

見よ見よ祖国の前途は新
止むなき希望に光明を添へむ



北海道旭川北高等学校同窓会会長 (北高25期) 尾 崎 信 彦

北高魂 〃気は優しく力持ち〃

会員の皆様、何時も同窓会活動に深い御支援と御協力を頂き、厚くお礼を申し上げます。

今年の同窓会は実行委員長の村田朋輝さんをはじめ41期生の皆さんに北高魂と云うキャッチコピーで同窓会総会及び懇親会のお手伝いをしていただいております。良い会になることを期待しております。

さて、今年の卒業生は非常に頑張って、現役で阪大合格や旭川医科大学に2名合格をはじめ、卒業生の半分程が国公立大学へ進学しました。本当にうれしく思います。

これは、普段はのんびりしているが、やる時はやるという北高魂のあらわれではないかと思えます。

そして本年は、今年春の旭川周辺

の中学卒業者が多かったのか全日制の普通科の入学生が6クラス240名から7クラス280名と本年度だけ40名増員されたようです。

本年度だけの事なので丸山校長先生をはじめ、諸先生にとっては大変御苦労な事だと思いますが、将来、私どもの仲間となる大事な後輩です。ので何卒宜しくお願い申し上げます。

そして、本年の新入生から、セーラー服と学生服が少しチェンジしたようです。男子の学生服はほとんどどこが変わったのかわからないくらいです。女子のセーラー服は、ジャンパースカートが非常に肩こりがすると云うことで、ツーピースに胸にはリボンがついてモダンでかわいくなったと思います。

衣が変わっても芯がしっかりとした北高魂を持っていれば、今後も立派な人間に成長できるものと確信しております。

さて、最近でも時々テレビや新聞でいじめ問題がクローズアップされておりますが、強気をくじき弱気を助ける北高魂が、今後も延々と続いてくれることを我々先輩として強く願うものです。

末筆ながら北高同窓会の皆様の御健康と御多幸、そして母校旭川北高等学校の発展を御祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。



北海道旭川北高等学校長

丸 山 年 民

ごあいさつ

北海道旭川北高等学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より母校の教育活動に対しまして、尾崎会長様を始め多くの皆様より多大なご支援ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、私は昨年旭川北高校に赴任しまして2年目となります。微力ではありますが、全教職員がチームとなつて全生徒のために、その職責を果たしていく所存です。今後とも同窓会の皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

学校創立77年を迎えた長い歴史と輝かしい実績、更には素晴らしい校風を脈々と引き継ぎ、北海道高等学校教育の中心校として発展してきた旭川北高校は、2017年度も順調にスタートを切っております。これまで同様、温かく、時には厳しく叱

咤激励をいただければ幸いです。

学校の近況をお伝えします。今年、単年度処置ですが1学年1間口増の7クラスとなりマイナーチェンジされた新制服を身につけ280名が入学しました。5月末現在で生徒在籍数は、全日制758名、定時制50名となっております。また、今年度から3カ年計画で校舎大規模改修工事が開始されます。

生徒の状況ですが、全日制では、今春卒業生の107名が現役で国立大学に合格しました。京都大学には4年連続で合格者がでっており、札幌医科大学・旭川医科大学の医学科にも3名が現役合格しています。部活動の方も活発で、全校生徒のほぼ90%が部活動に加入し、5月の高体連支部大会では男子バスケットボール部が創立以来初の優勝を果たし栄冠を手に入れました。その他、女子バ

ドミントン、硬式テニス、卓球、陸上、剣道、水泳、山岳部、高文連では放送局が全道大会に出場しました。定時制では、最後まであきらめず努力を続けて12名の生徒が就職することができました。部活動では、定時制通信制体育大会で男子バスケットボール、卓球、柔道部が全道大会に進みました。練習時間の確保が厳しいなかでよく頑張つて結果を残してくれました。

北高の教職員は、教育への強い信念、使命感を抱き、プライベートの時間がないほど身を削りながら生徒の意欲を引き出して、より質の高い生徒指導に向けて取り組んでいます。同窓会の皆様の期待に応えられるように今後も全力を尽くしてまいります。これまで通り生徒の活動を温かく見守っていただき、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。



平成28年度会務報告

平成28年

4月8日 (金)	入学式 (尾崎会長出席)
5月14日 (土)	役員・幹事長会議 (ポスター・チケット配付) 旭川グランドホテル
6月24日 (金)	会計監査
同 日	第3回役員会 (旭川グランドホテル)
7月9・10日 (土・日)	北高学校祭 (同窓会露店参加)
8月6日 (土)	第51回同窓会総会・懇親会 (旭川グランドホテル) ゴルフコンペ
同 日	学校祭収益金贈呈
9月17日 (土)	当番期引き継ぎ会議 (旭川グランドホテル)
同 日	第1回役員会
10月7日 (金)	札幌同窓会総会 (尾崎会長他5名参加)
12月	同窓会入会案内配付

平成29年

1月28日 (土)	第2回役員会・各期幹事会・合同新年会 (旭川グランドホテル)
2月	ノースウィンド発行
2月28日 (火)	同窓会入会式 (全日制・定時制：役員出席)
3月1日 (水)	卒業式 (役員出席)
4月8日 (土)	入学式 (尾崎会長出席)
5月13日 (土)	役員・幹事長会議 (ポスター・チケット配付)
6月15日 (木)	会計監査
同 日	第3回役員会 (旭川グランドホテル)
7月8・9日 (土・日)	北高学校祭 (同窓会露店参加)
8月12日 (土)	第52回同窓会総会・懇親会 (旭川グランドホテル) ゴルフコンペ
同 日	学校祭収益金贈呈
《今後の予定》	
9月9日 (土)	東京同窓会総会 (ホテルモントレ半蔵門) 14時～ 役員派遣予定
9月	当番期引き継ぎ会議
同 日	第1回役員会 (旭川グランドホテル)
10月6日 (金)	札幌同窓会総会 (札幌ガーデンパレス) 18時～
12月	同窓会入会案内配付

旭川北高同窓会平成28年度一般会計決算書

■収入の部

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1 繰 越 金	650,281	650,281	0	
2 同 窓 会 費	1,213,000	1,219,000	6,000	
①入 会 金	717,000	711,000	▲ 6,000	237名×3,000円
②終 身 会 費	496,000	508,000	12,000	254名×2,000円
3 ホームページ運営管理費	260,000	224,500	▲ 35,500	会券売上げ449枚×500円
4 雑 収 入	200	12	▲ 188	貯金利子
合 計	2,123,481	2,093,793	▲ 29,688	

■支出の部

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1 総 務 費	960,000	803,174	▲ 156,826	
①事 務 費	20,000	10,000	▲ 10,000	消耗品費
②会 議 費	250,000	174,000	▲ 76,000	役員会、幹事長会等開催費
③通 信 費	35,000	32,140	▲ 2,860	切手、はがき、電話
④印 刷 費	20,000	10,000	▲ 10,000	会議開催案内状等印刷費
⑤慶 弔 費	30,000	0	▲ 30,000	香典、生花、弔電
⑥支 部 活 動 費	130,000	128,000	▲ 2,000	札幌支部同窓会出席旅費、活動助成金
⑦広 報 費	250,000	233,280	▲ 16,720	同窓会ホームページ年間管理・運営費
⑧卒業記念品費	160,000	175,366	15,366	卒業生記念品
⑨後援会事業費	35,000	18,840	▲ 16,160	学校祭協力費
⑩雑 支 出	30,000	21,548	▲ 8,452	振込手数料、雑費
2 文 化 費	330,000	325,400	▲ 4,600	ノースウィンド第24号印刷費、活動費
3 予 備 費	833,481	0	▲ 833,481	
合 計	2,123,481	1,128,574	▲ 994,907	

■支出決算

(単位：円)

収入額	支出額	残 高
2,093,793	1,128,574	965,219

残高965,219円は次年度へ繰越

■平成28年度特別会計決算書

(単位：円)

収入の部		支出の部		残 金
前年度繰越金	625,823	御招待者 (北高17期) 会費	282,000	次年度へ繰越 660,324
北高第17期御祝儀 (47名)	470,000	第52回総会準備金貸付	300,000	
第51回総会準備金返還	300,000	記念事業基金へ	200,000	
第51回実行委員会から	200,000	懸垂幕 (久保倉選手オリンピック出場)	70,864	
ストラップ販売 (14個)	7,000	記念品購入 (24個)	89,640	
貯金利子	5			
合 計	1,602,828	合 計	942,504	

■同窓会資産

(単位：円)

累計額	平成28年度 積立額	平成28年度 支出額	合計累積額	摘 要
8,314,422	3	0	8,314,425	積立額は郵便貯金利子

■同窓会記念事業基金

(単位：円)

累計額	平成28年度 積立額	平成28年度 支出額	合計累積額	摘 要
2,255,402	200,031	0	2,455,433	積立額は郵便貯金利子と実行委員会より寄付

北海道旭川北高等学校

同窓会規約

●第1章 総 則

第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて北海道旭川北高等学校の健全なる発展に寄与することをもって目的とする。

第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に置く。

●第2章 事 業

第4条 本会は、その目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員の親睦を図ること。
- (2) 会誌及び会員名簿の発行
- (3) その他本会の目的を達成するために必要と認める事業

●第3章 会 員

第5条 本会は、次の各号に該当する者をもって構成する。

- (1) 旭川市立中学校卒業生
- (2) 旭川市立高等学校卒業生
- (3) 旭川北高等学校卒業生
- (4) (1)(2)(3)各号以外（転・退学した者）で、本会に入会を希望する者。

●第4章 顧 問

第6条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会において推挙する。

第7条 顧問は、役員会の諮問に応ずるものとする。

●第5章 役 員

第8条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 若干名
- (3) 会 計 監 査 3名
- (4) 総務部長 1名
- (5) 総務副部長 若干名
- (6) 会 計 部 長 1名
- (7) 会 計 副 部 長 若干名
- (8) 文 化 部 長 1名
- (9) 文 化 副 部 長 若干名
- (10) 幹 事 長 各期毎1名

第9条 会長、副会長は、総会において会員の中から選出する。

ただし、再選を妨げない。

2 会長は、本会を代表し、会務を統理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。

第10条 第8条の役員のほか、各期各組から1名ずつ幹事を選出し、各期ごとに幹事長1名及び副幹事長2名を推薦し、会長はこれを委嘱する。ただし、定時制にあつては幹事長のみとすることができ。

2 幹事長は、同期を代表し、かつ統括する。

3 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときはこれを代理する。

4 幹事は、各組の取りまとめにあたる。

第11条 会計監査は、総会において会員のなかから選出する。ただし、再選を妨げない。

2 会計監査は、本会の経理を監査する。

第12条 各役員の任期は、2年とする。ただし、任期満了後でも後任者が決定するまでは、引き続きその任にあたるものとする。

●第6章 総 会

第13条 総会は、定例総会及び臨時総会とし、議決は出席者の過半数をもって、賛否同数のときは議長これを決す。

2 定例総会の開催時期は、前年度の定例総会において決定する。

3 定例総会の運営は、各期毎の当番でこれにあたる。

4 臨時総会は、会長が必要と認めたときに、役員会の決定をもって会長がこれを招集する。

第14条 総会は、次のことを審議する。

- (1) 会務の報告
- (2) 決算の承認
- (3) 規約の改正
- (4) 役員の選出
- (5) その他必要な事項

●第7章 役員会及び幹事長会

第15条 本会の役員会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長をもって構成し、会長がこれを招集する。

2 本会の幹事長会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長及び幹事長をもって構成し、会長がこれを招集する。

第16条 役員会の議決は、出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは、議長がこれを決する。

第17条 会員は、役員会に出席して意見を述べることができ。

第18条 本会には、次の部会を置き会務を分担する。

- (1) 総務部

ア 総会及び役員会に関すること。

イ 規約の改廃に関すること。

ウ 本会の渉外事務に関すること。

エ 支部の結成及び支部との連絡調整に関すること。

オ その他庶務一般に関すること。

(2) 会計部

ア 本会の会計に関すること。

(3) 文化部

ア 会誌及び会員名簿の発行に関すること。

イ 会員の親睦を図り、文化厚生活動に関すること。

2 部会には、部長1名、副部長若干名、委員若干名を置く。

3 前項の部長、副部長及び委員は、会長がこれを委嘱する。

●第8章 会 計

第19条 本会の経費は、入会金二、〇〇〇円、終身会費三、〇〇〇円及び寄付金をもってあてる。

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

●第9章 事務局

第21条 事務局は、若干名の事務員を置き、本会の事務を処理する。

2 事務局員は、会長がこれを委嘱する。

●第10章 規約の改正

第22条 本規約は、総会の承認がなければ改廃できない。

第19条 S 50. 9. 6 改正

第19条 S 53. 9. 2 改正

第19条 S 57. 8. 4 改正

第13条2項 S 58. 8. 13 改正

第19条 S 63. 8. 7 改正

第19条 H 2. 8. 11 改正

第4条・第8条・第10条・第11条

第15条・第17条・第18条・第20条

H 4. 8. 8 改正

H 7. 8. 12 改正

H 9. 8. 9 改正

札幌支部



雑感

札幌同窓会会長

武田

寛（北高16期）

私が生まれた年は昭和22年で所謂団塊の世代である。年間出生数が260万人。戦後間もない頃で、日本全体が貧しかった。どの家庭も貧しかったので、特に自分が惨めと思ったことは無かった。白米を食べられるのは週1回、おかずは納豆が多かった。当時納豆は5円位であったか。母に納豆の買い物頼まれて、10円を持たされて夕方薄暗くなつてから、手に10円をしっかりと握って走って買い物に出かけた。途中でしっかりと握っていたはずの10円玉が無い。辺りを探したが暗くて探すことができなかった。家に帰ってこっぴどく叱られた。当時はテレビもゲームもなかった。夜暗くなるまで、近所の子等と外で遊んだ。学校のグラウンドはいつも子供たちでこつた返っていた。

昨年、出生数が100万人を切った。日本の総人口は2008年をピークに減少傾向にある。人口減少、少子化の影響が至る所に出始めている。2007年に少子化担当大臣が誕生したが、その成果

ははっきり見えてこない。

出生率が2人で人口が維持されるが、現在の出生率は1.4人と低い。出生率の低い原因は、昭和61年に派遣社員・契約社員制度が出来て、所謂、非正規雇用労働者が増えてきたこと、更に、晩婚化、共働きの増加、保育園の不足、会社の対応の遅れ等である。

最近、特に問題なのは「子供の貧困」である。子供の6人に1人が貧困と言われている。貧困の定義は妻1人、子供2人の4人家族のサラリーマン世帯で年収でいうと305万円以下と定義している。親としては誰もが子供には経済的な心配はかけたくないと思っている。経済的な理由で満足な食事をとれない、また、共働きで子供一人で食事をしなければならぬなど、そんな子供を支援する「子供食堂」という活動が広がっている。安倍政権には「出生率」、「子供の貧困」を改善するべく抜本的な対策を講じていただきたい。

末筆になりましたが、旭川北高の益々のご発展を祈念いたします。

東京支部



東京同窓会のこと

東京同窓会会長

山口

哲男（北高18期）

東京同窓会の近況を報告させていただきます。同窓会は、13期丹保顧問、18期山口会長、石井幹事長、谷尾会計部長、植松役員、21期桜井役員、22期柿林副会長、23期佐藤役員と役員が5期にわたって活躍しており、比較的メンバーのバランスが取れていると思います。

18期が中心メンバーになっていますが、18期は戦後のベビーブームの最盛期に生まれ、1学年で現在の倍以上の500人近い生徒がおり、生存競争の激しい時代でした。今年は、卒業後50年の記念の年を迎え感慨深いものを感じます。

人数が多く活発な人が多いせいか、18期の東京同期会は、現在も活発な活動を続けています。年に数回のパーティーの他に昨年11月の京都一泊旅行、今年6月の軽井沢一泊旅行など毎年のように泊まり込み旅行に出かけています。この活力を同窓会活動でも発揮するよう努力しているところです。

東京同窓会では、2年に1回総会・懇親会を開催しています。前

回は一昨年開催しましたが、本部役員の方々からは財政的なご支援をはじめ様々なご支援をしていただきました。また北海道在住の会員の方々にも多数ご参加いただき、会を盛況裏に進めることが出来ました。本部役員の方々、北海道在住の会員の方々に厚くお礼申し上げます。本年も9月9日(土曜日)午後2時よりホテルモントレ半蔵門で開催します。皆様方多数のご参加をお願い致します。

皆様のご支援のおかげで前回の総会・懇親会への参加者は、期待以上に増加させることが出来ました。しかし若い人々の参加者は、あまり増加させることは出来ませんでした。本部の若手中心の期の一部の幹事長の皆様に関東地区の会員のご紹介をお願いしましたが、ご協力いただき感謝申し上げます。返事をいただけなかった幹事長様も、いつでも構いませんので、ご紹介いただければ幸いです。次第ご連絡いただけると幸いです。今後とも東京同窓会へのご支援を宜しくお願い申し上げます。

恩師の近況

思い出すままに

Former teacher

入船敏昭

昨年も同窓会誌に拙文を書かせていただきました。重複するところも多いかと思いますが。その点はお容赦願います。

旭川北高には、昭和62年度から平成2年度までの4年間、お世話になりました。今、思い出してみれば、北高在職中の私は、ただの子ども（もしかしたら生徒諸君よりも幼い？）だったんだなあとつくづく情けなくなります。とてもこの場で、文章にする事なんかできない事の方が多いような気がします。それでも見捨てず、私を育てようとしてくださった先輩の先生方、未熟な教員を許容してくれた生徒諸君に改めて感謝いたします。教員としてのスタートが北高だったからこそ、今でも教員をやらせていただいていると思っています。

たまたま卒業アルバムがありましたので、何か文章にする材料はないかと眺めてみました。まず自分が若い。これには驚きました。（20代半ばです。から当たり前ですが）。しばらく卒業アルバムをしみじみと眺めていました。当時は毎年クラス替えがありましたね。1年次は自然学級、2年次はやや理系クラス（化学選択のクラスでしたか？）、3年次は文系クラスの担任でした。3年間、受け持った生徒は確かなかったです。ありがとうございます。（君たちのためにはそれが良かったのでしょね。）

今も年賀状を出してくれるクラスやサッカー部の諸君には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

13年前の甲子園出場のように、今後も北高生が活躍すること、北高同窓生が各分野でご活躍することをお祈りしています。

自らのお仕事も大変ななか、同窓会の開催、同窓会誌の編集等、

北高並びに同窓会のためにご尽力くださっている同窓会役員の皆様

に感謝申し上げます、拙文を閉じる事にします。

Former teacher



かけがえない時間

松原紀子

5月の半ば、村田君からの突然の電話。卒業以来、初めての連絡でした。聞けば、北高同窓会の幹事を仰せつかり、同窓会開催に向けて奔走しているとのこと、当時の仲間が快く協力の手をさしのべてくれているとのこと、話を聞いているうちに二十数年前の記憶がよみがえってきました。

しっかり者の女子にパーマをかけたキャピキャピギャル、大人しく真面目な男子にエスケープ常習犯の男子、色々な生徒がいました。しかし、みんなまっすぐでした。陰険さがありませんでした。ですから、授業をサポートした生徒を叱っていたとしても、心の中で微笑んでいた自分がいたことを思い出しました。

あれから二十数年の月日が流れ、私はといえば、娘が送ってくれる孫の動画に目を細め、オシャレに

余念のなかったあの頃のみんなは小学生、中学生のお父さん、お母さん。当時の私は35歳、卒業アルバムを見て、今とは似ても似つかぬ風貌にただただ驚くばかりです。その頃、自分が何を考え、どんな思いで日々を過ごしていたのか、思い出す術もありませんが、一つだけ覚えてるのは、毎日ががむしゃらで余裕がなく、土曜日の授業が終わると、フーツと大きく息を吐き、日曜日の夜になると、また臨戦態勢に入る、そんな毎日であつたように思います。みんなの明るく屈託のない笑顔に支えられて一日一日を乗り切ってきたように思います。

悪さをしたとしても決して一線を越えることのないバランス感覚、自分たちの力で物事を成し遂げようとする自主性、北高を支える自由闊達な気風の中で高校3年間を

過ごすことができたことは、皆さんにとっても私にとってもかけがえのない時間だったのではないのでしょうか。

還暦を過ぎた今でも私は頗る元

Former teacher



北高校よ 永久に栄あれ！

藤見弘道

「つれづれなるまゝに、日暮らし硯に向かひて、心にうつりゆくよしなしごとをそこはかとなく書き付くれば、あやしうこそ物狂ほしけれ」

凡そ700年前の鎌倉時代末期、吉田兼好法師が著した「徒然草」の序段の本文で、誰しも一度は学生時代に教わった記憶があるでしょう。

退職して十数年、今はつれづれの身で、ひねもすのんびんだらりのある日、卒業生のAさんから「同窓会の記念誌を作るので原稿を書いて欲しい」との仰せがあった。勿論、お引き受けしたものの、兼好法師のようにはいかず、何を書くべきか悩む日々だった。

年を取ると皆一様に口に出る言葉の一つに、一年が早いなあで

気！テニスにガーデニングにと忙しい毎日です。

北高41期卒業生に幸あらんことを祈ると共に北高の益々のご発展を祈念しております。

あり、はたまた「こないだ」と50年も前のことを普通に話したりもする。確かに、書物にも「同じ一年であつても、10歳の子供にとつては人生の10分の1であり、70歳の老人にとつては70分の1である。年齢に対する比が小さい程時間が短く感じられるので、加齢によって時間が短く感じられる」と、時の流れについて書かれていた。

そして、又、ある書物に曰く、人生の節を四季折々の変化に重ね『青春・朱夏・白秋・玄冬』と名付けたと。その青春は悩み、惑い、一方覇気に富む時代、朱夏は働き盛りの時代、白秋は淡々として人生を語る時代、玄冬は身体が弱り我が人生に徐々にだが陰が見え隠れし終焉を意識せずにはおれない

時代と。しかし、我が先達は身体の衰えに怯むことなく、人生、玄人の道なり」と言い切り我が王道を進み行った、という。

米国の詩人、サミエル・ウルマン（1840～1924）はその作品「青春」で老いについてこう表現している。「ときには、20歳の青年よりも70歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。青春とは心の若さである。云々」

北高は昭和15年の創立であり、私は一つ年下の生まれです。従って、何年も前に高齢者の仲間入りし、加齢に伴う身体的代謝の低下、運動能力の低下など様々な衰えを感じ、若い頃と比べて一日の中でこなせる仕事量が激減し、疲れも翌日まで残ることも屡々です。しかし、肉体的衰えは致し方なくとも、精神的な面ではウルマンの「青春」の詩を思い起こし、又、白秋「玄冬と名付けた先達の人生、玄人の道なり」には到底叶うはずは無いが、ほんの少しでも近づくことが出来るように努力を重ねて、歳に負けることなく、青春真っ只中にいる高校生との触れ合いを天職としたことに誇りを持ち、何時

までも若い気持ちを持ち続けたいと願っています。

今年の同窓会のスローガンは北高魂ですね。「自律・創造・向上」の校訓は、逞しく生き、優れた国際人となつて世界に羽ばたくことを願ったものです。総会では、若人も先輩者も一堂に会して旧交を温め、良き北高時代を懐かしむこととでしよう、そして天下国家を論じて下さい。北高は、卒業生にとつても、奉職させて戴いた私にとつても比類なき全国一の素晴らしい高等学校です。北高よ永久に栄あれ！



Former teacher

わたくしの18年―旭川北高―

市田 尚生

私の教員生活は次の通りである。

最初は留萌高校5年、次は旭川商業高校10年。次の鷹栖高校は5年。そして旭川北高校は18年で、非常に長く感じた。本稿では最後の旭川北高に関して述べることにする。

昭和63年4月、すぐ英語科を担任することになった。男子がやや少なかったが、元気に溢れた感じだった。女子は非常に活気に満ちた雰囲気だった。平成2年の秋、3年生のときに創立50年の記念式典が行われた。この時、生徒は感激で一杯だった。この時分は、各学年10クラスの大世帯だった。

平成5年は1学級減になり、ややさびしくなった。私はまた英語科の担任となった。ここの女子は全く違っていた。男子のいないのを幸いに？学習のみならず、部活動に専念するなど大活躍だった。平成7年度は球技大会にクラスで優勝するなど大活躍を示した。

平成8年になると私は定年まであと10年となった。本校でも時代

の流れから、海外語学研修をやる

うということに決まった。国は米国で期間は3週間、そして12月から1月にかけてやると決まった。英語科1・2年生で4つのグループをつくることにした。我々としても60名が限度と判断した。

私も引率団の一員として出発した。目的地はアメリカ、カリフォルニアである。現地に着けると、それぞれ迎えが来ていた。皆が新しい家庭に移り住んだ。

この辺りで有名なものは、ユニバーサルスタジオやデイズニランドがあげられるだろう。前者には路面電車に乗って楽しんだり、後者ではスペースマウンテンに乗ったりと多彩だっただろう。

第1回目に参加したC・Nさんは、彼女のホストファミリーへの積極性や米文化に関する興味がすごく強かった。その後米国に渡り、アメリカの大学を優秀な成績で卒業した。

Former teacher



北高での思い出

山田 栄二

私が北高に在職したのは、平成元年4月から定年退職した平成20年3月までの19年間でした。

今回の幹事、平成3年卒の諸君とは英語科10組の担任として2年間過ごしました。女子が多く、いつも話し声笑い声の溢れたとても明るく活発で仲の良い集団でした。また、行事の時には皆が一つになり協力してやり遂げる団結力も持っていました。

平成11年の学校祭で初めて『よさこいソーラン』をやってみないか、と生徒に投げかけましたが反応は、どうして仕事を増やすのだという冷たいものでした。

しかし準備が始まってみると徐々に生徒間の気持ちが始まり前夜祭で全校注目の中、実にきびきびと躍動感溢れる演舞を繰り広げました。

終わった時の生徒の顔には笑顔と充実感が満ちていて私も感動しました。

そして私にとって最高の思い出

は、平成16年の夏、野球部々長としてチームと共に甲子園に出場したことです。

決して強い！というチームではなかったけれど一試合毎に力がついていくのを感じました。北・北海道大会ではそれが自信へと変わり、あれよあれよという間に決勝に進出し、最後の打者を三振に打ち取った時は「ウソ！」と「やったー！」という思いだけが真っ白になった頭の中で交錯していました。

その年の夏は甲子園で超多忙の日を過ごしましたが願っても得られない夢のような日々でもありました。

ここで改めてその時大変お世話になりました同窓会役員の皆様として同窓生の心温まる応援に心より御礼申しあげ、終わりとします。



Former teacher

教学半

芝木邦夫

北高同窓生各位のご活躍に心よりお慶び申し上げます。また、当番幹事のご尽力を多とするものです。

さて、小生は平成6年に退職し、引き続き7年間非常勤講師を引き受け、平成13年3月をもって学校という職場から離れたのである。午前中、北高。午後、実高に移動し、終わると、教育大の講義をすませて一日が終わるといった曜日もあった。むかし院生時代に似たようなことをしていたし、現職中も、1年生の学級担任をしていたとき、自分のクラスの現代国語を担当しただけで、残りの持ち時間は2・3年と、3学年に跨がるということもあった。

学校から離れても、永年関わってきた社会教育がある。公民館の古典文学講座とか道や市の社会福祉所管の老人大学や百寿大学の文学講座、おまけに教育大の公開講座の手伝い。平成11年に開講した道新文化センターの講座はまだ終

わらない。私のもとめる日本文化論について、私にとって、不明な所や欠落している所、そして考察上の問題点等々を填めていくためにも語り続けなくてはならない。

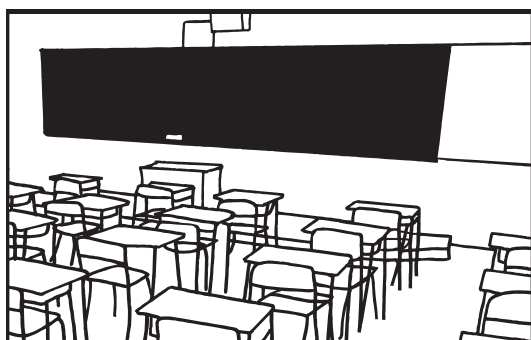
この活動は昭和53年に古典文学を読みたいという婦人のサークルを手伝った時から関わりであるから、都合41年にわたる。私にとっては、ほぼ半生である。残念ながら、活動の原点ともいえるべきこのサークルも高齢化の波はきびしく一昨年3月をもって解散ということになった。

学校教育と社会教育を統一して進めていったのには、職場の理解と、外部の講座などを企画して要望に応える営みの中に数々の学ぶことがあったからである。言うなれば私にとっての研修であった。

「教フルハ学ブガ半バ(教学半)」という古言がある。意とするところは、学ぶという営為は、終始の計り知れないものである。何が欠落しているのか、進め方に問題は

ないのか、それらを自覚して填めていくことは困難である。学ぶ立場に埋没する限り、見えていないもののあることに気がつかないものである。教える立場に身を置くことによって見えなかったものが見えてきたり、欠けているものに見えたりもし、そこからまた学ぶことに拍車がかかったりもする。要するに学ぶことの総体は学と教なのである。

学ぶ過程で、教えるという形式



で学んだことどもを表出する。いわば中間決算のようなものである。表出の過程で生じた不備難点を学ぶことに還元するとよい。

個の人間として、より豊かな世界を構築する方途として「教学半」について考えてみたのであるが、集団の質を高めるうえでも有効であるように思われる。なかでも知識・技能の世代間の移転をオープンにし、研鑽を積みあうことが期待される。

北高 今昔



昭和40年頃の校舎



現校舎



廊下



今年の北高祭の風景



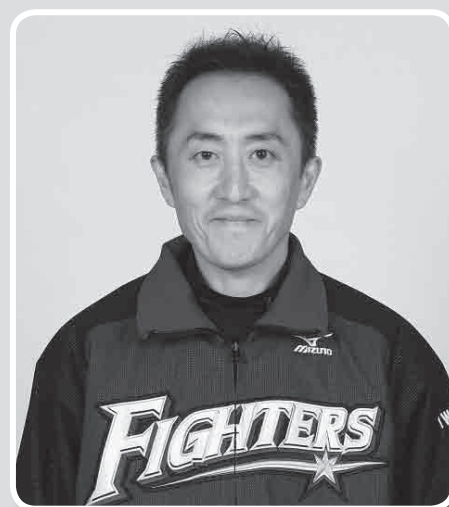
校舎から見た風景

同窓会

北海道日本ハムファイターズ
チーム統轄副本部長

いわもと けんいち
岩本 賢一

第41期



■プロフィール

1991年 旭川北高普通科卒業
1997年 オレゴン州立大学卒業
1998年 ニューヨーク・メッツ入団（～2002）
2003年 日本ハムファイターズ（現・北海道日本ハムファイターズ）入団
現在、北海道日本ハムファイターズ チーム統轄副本部長

1983年の高校野球・北海道大会決勝は、延長15回の激闘だった。旭川龍谷に敗れはしたが、最後まで全力を貫いた旭川北ナインの姿は清々しかった。その試合をテレビ観戦していた僕は、当時小学5年生。「ここで野球したい！北高に行く！」と、中継終了直後に両親へ宣言したことを今でも鮮明に憶えている。

憧れであった北高野球部に入部したが、2年生になる前に挫折した。中学時代は怪我ばかりでまともにプレーができなかったが、今思えば、高校入学後も心身共に貧弱

であったことが退部の原因だろう。強い思いを持ち北高に入学しただけに、野球部からの離脱という事実は、自身に重くのしかかった。学校へ行く気力が失せ、「休みたい」と毎朝、母親を困らせた。ようやくクラスの席に着いても、人と接することが苦痛で塞ぎ込み、授業も上の空。退学したいと真剣に考えていた。

何に対しても中途半端で、不機嫌な雰囲気撒き散らしていた僕はまさに「ヘタレ」であったのだが、周囲は本当に優しくした。1年の時の入船先生も、2年の時の藤田



copy right: h.n.f

先生も、常に温かく見守ってくださった。クラスメイトの麻生ちゃんや、岩見田、水留、林、馬場君らが、遊びにも勉強にも、時には



copy right: h.n.f

バカ話にも誘ってくれた。そして野球部の同期全員が、退部後も変わらず接してくれたのが何より嬉しかった。気づけば多くの友人が、僕の高校生活を少しずつ明るいものへと変えてくれたのだった。

3年生時、北高野球部は、北海道大会進出をかけた旭川支部予選決勝で旭川実業と対戦した。僕はスタルヒン球場のスタンドの端から、大声を出して応援した。それ

は、野球部員として志を貫徹できなかった自分の悔しさをぶつけるのではなく、いつも僕のことを気にかけてくれ、辛い練習に3年間耐え抜いた面々に、何としても勝利の喜びを味わってもらいたかったのだ。竹澤の逆転三塁打と中港の好投で勝利した瞬間、僕は声をあげて泣いた。歓喜につつまれた1塁側応援席と、笑顔で校歌を歌う北高ナインの風景に、自らの高校生活を重ね合わせた。

この年の北海道大会は帯広で行われ、北高は準々決勝進出と大健闘だった。滝川西に敗れた夜、野球部の天野が、帯広から戻ったその足で突然、僕の自宅を訪ねてきた。北高の試合用ユニフォームを差し出し「お前、これを見て写真を撮れ」と言った。天野の優しさに本当に胸が一杯になったが、ユニフォームに袖を通すことは固辞した。自分に着る権利はない、着てはいけな

いと感じたのだと思う。

小学5年で北高野球部に憧れ、希望が叶い入学。しかし、ついぞ一度もあの眩しいASAHIKAWAKITAのユニフォームを着ることができなかった。しかし、北高で得た多くの友人や、お世話になった方々への感謝、そして、野球をまっとうできなかったという後悔に似た気持ち、その後の自分を突き動かしたのかもしれない。

現在、ファイターズの一員として、年に数度の旭川遠征に帯同している。そして、北高校舎を目にし、スタルヒン球場のフィールドに立つたびに「みんな、元気にしているだろうか」と、高校時代の仲間たちのことを懐かしく思い出す。さながら、一人同窓会のようなものだ。

旭川北高は僕の母校である、今でも事あるごとに自慢している。

ANYTHING GOES 「なんでもあり」

株式会社 Moon Gate 代表取締役

竹本 アイラ 第41期

たけもと



■プロフィール

1991年 旭川北高英語科卒業
1996年 『のりゆきのトークDE北海道』のレポーターとしてデビュー
2004年 有限会社PLAN-A設立（現・株式会社MoonGate）
2011年 資生堂のCM出演

25年に及ぶテレビやラジオへの出演歴を活かし
現在は経営者やトップリーダー向けのスピーチトレーナーや社員研修の講師として全国で活躍中

公式ホームページ <http://moon-gate.jp/>

「ANYTHING GOES
「なんでもあり」これが当時の
私たちのクラス英語科3年10組の
スローガンでした。

英語科Ⅱ英語を主に扱うクラス
というより、英語科Ⅱノリがアメ
リカンで楽しいクラス！という認
識だった私たちは、このスローガン
通り「ANYTHING GOES」
な学校生活を送りました。

特に印象に残っているのは、お
昼のお弁当の時間です。

クラスの一人が、食事の時に「美
味しいコーヒーが飲みたい」と言
い、湯沸しポットを持ち込んだ事
がありました。4時間目にそのポ

ットの電源を入れるので、授業中
にシューシューお湯が沸く音が聞
こえ、先生が授業に集中できない
なんてシーンがありましたね。

そうそう、ある放課後、その湯
沸しポットのコンセントを抜き忘
れていたのを教頭先生に見つかっ
て、没収されたことがありました。

私たちは、逆ギレして、教頭先生
が教頭室から出るのを見計らって、
こっそり取り返した時の、あのな
んとも言えない達成感。今この原
稿を書きながらも、思い出してニ
ヤニヤしてしまいます。

それがエスカレートして、今度
はホットプレートを持ち込み、お



好み焼きを焼き始めると、その香ばしい匂いにつられ、他のクラスからも友達が押し寄せ、熱々のお好み焼きを堪能し、今考えれば高校とは思えないインパクトのあるランチタイムを楽しんでいました。

実は、私の原点はこの「ANYTHING GOES」にあります。

私は20歳の頃に、テレビのレポーターをスタートさせ、その後ラ

ジオのDJやテレビコメンテーターなどを経て、現在は、経営者のスピーチのトレーニングや人材教育の事業をやらせていただいております。

その傍らで、高校2年生の娘の母親でもあり（もしかしたら私が家事や育児をしているのを想像できない方もいるかもしれませんが）一応子育てもちゃんとやっているんですよ。

今から18年前、私は娘をお腹に宿しました。当時、マスコミというの

場の一つでした。せっかく自分が培ってきたキャリアも、結婚・妊娠・出産・育児という、ライフイベントの前では、大きな壁となるのです。ですから、マスコミで働く多くの女性は、ライフイベントとキャリアのどちらかを諦めなくては いけませんでした。

でも、私の根底には「ANYTHING GOES」のスピリットが流れていましたので、「なんでもありじゃん！だって、どっちも手に入れたいし、その方が絶対に人生楽しいんだから」そう決めて妊娠9ヶ月までマイクを持ち、

産後も3ヶ月で復帰しました。

先日、名古屋でラジオのパーソナリティをされている方とお話をしました。彼女はまさに、今、ライフイベントとキャリアの狭間で悩んでいました。

私が、この「ANYTHING GOES」の精神で、出産・育児とキャリアの両立を手に入れた事を話すと、うつすら涙を浮かべながら「勇気が湧きました」とおっしゃっていました。

確か、今の北高には英語科って、ないんですよ？

でも、この英語科スピリット「ANYTHING GOES」の逞しさは、きっと今の北高にも脈々と流れ続けているに違いないと信じています。

大人になった北高生の皆さん、迷ったり悩んだりした時は、ANYTHING GOESですよ！

思い立ったら

旭川市国際交流委員会
事務局次長

さいとう えみ 斉藤 絵美衣 第41期



プロフィール

1991年 旭川北高普通科卒業
1996年 イリノイ州立大学 マーケティング科卒業
1998年 Heakin Research 退社
1998年 北イリノイ大学コンピューターサイエンス科編入
2000年 北イリノイ大学コンピューターサイエンス科卒業
2002年 ビルマでAdvanced Technologies and Solutions を友人と設立
2007年 日本帰国
2008年より旭川市国際交流委員会に勤める

現職 旭川市国際交流委員会 事務局次長

寄稿のお話を頂いたときは何だか「同窓生の活躍」のページなんて恐縮だな、と自分には場違いなのではと思いましたが、高校生の時に思い描いていた人生とは違いましたがそれなりに楽しいものでしたので、少しここに書いていこうと思います。

高校に入り少し落ち着いた頃、父より勉強するならアメリカでやったらどうだ、と本人はあまり考えずに言ったのかもしれませんが真に受け高校卒業後に渡米。大学を卒業して2年ほど働いていましたが「これからはネットの時代」と大学に入り直しコンピューター

サイエンスを専攻しました。その時に同じクラスだったビルマ（ミャンマーと呼ばれている国ですが、ここではビルマと呼びます）人の女性と仲良くなり、9・11アメリカ同時多発テロ事件後、大学院にいた彼女はビザのチェックが厳しくなり、自国に戻ることを決心。その時に一緒にビルマで会社を立ち上げないかと誘われ、こんな無謀なチャンスはないな、と思わず行っていました。

それまでに北米や欧州の国々へ行ったことはあったのですが、開発途上国と呼ばれる国には初めて行くことになりました。「あまり





の貧困にびっくりするよ」と言われましたが本当にそのとおりでした。まず車道脇に裸の2歳くらいのこどもが楽しそうに遊んでいるのを見て仰天！なぜ服を着ていないのかなと思っていると現地の人から「こどもなのに何故服を着る必要があるのか」と言われ返す言葉も無かったです。とても暖かい地域なので風邪をひくことはありませんし雨季だったので濡れることや汚れることを考えたら後々楽なのかもしれません。今でもその時に見たこどもの笑顔が忘れられません。貧しさで幸福は必ずしも相反するものではないと気付かされた瞬間でした。ビルマ人の友達はとても裕福な家の人で、ビルマ滞在中は彼女の実家にお世話になりました。4人のメイドに家族5人プラス私という何とも恵まれた環境で4年間過ごすことが出来ました。敬虔な仏教徒のお母さんとインド系ビルマ人のお父さんからたくさん事を学びました。仕事はプログラミングよりもビジネス

アナリストとして主にシンガポールのクライアントを相手に週6日働き、ビルマの新年休暇（水かけ祭り）がある4月いっぱい休暇を取り日本やアメリカに帰ったりしていました。とても良い経験をさせて頂きましたが（大統領に会ったり、テレビに出たり）なんとなく日本に帰国することを考えていた矢先滞在先であるヤンゴン市で爆発事件が起こり、よく行っていたお店や、つい40分前までいたビルが爆発されたこともあり、帰国を決意。

旭川に戻ってきて市の国際化に草の根的な活動で携わっています。まったく今までと違うフィールドでの仕事に戸惑いましたが、もう10年目を迎えました。いろいろな面で日本は国際化（グローバル化や文化の多様化など）というものを真剣に考えざるを得ない時代になり、日々何ができるか模索中ですが、良いと思った事はやってみようと思います。



ルクセンブルグとドイツ国境を流れるモーゼル川。
両岸はぶどう畑がつづく。川の街育ちとしてはたまらない景色。

■プロフィール

1991年 旭川北高英語科卒業
1993年 米国カリフォルニア州サドルバックコミュニティカレッジ卒業
1994年 矢崎総業（日系自動車部品メーカー）勤務
1999年 メリルリンチ日本証券（現バンクオブアメリカ・メリルリンチ（米系証券会社））勤務
2010年～2014年 オランダ人と結婚→アムステルダム移住→出産
2015年～現在 ルクセンブルグ在住
2018年～ ドイツ移住予定

Life is a journey

ルクセンブルグより

やま
むね
ゆ
み
山崎 友美
第41期

北高時代、野球部の応援で熱狂しすぎてスタルヒンのフェンスに駆け上った英語科の山崎です。欧州生活8年の専業主婦で新鮮味も薄らぐこの頃ですが光栄な機会をいただきましたので僭越ながら諸々思いを書いてみたいと思います。

オランダ旅行のススメ、

欧州旅行は言葉が通じないと躊躇される方も多いと思いますが、オランダは英語が通じます！首都のアムステルダムは運河で形成された旧市街が世界遺産に登録されており主要部分は歩けばすぐ次の観光名所にたどり着いてしまう

ほどのサイズ。風車、チューリップ、アンネフランクの他ゴッホ、レンブラント、フェルメールなどの珠玉な絵画、世界屈指のコンサートヘボウでの音楽鑑賞など観光スポットの王道を行くも良し、夜はハイネケンビール飲みながらサッカー観戦。妖艶な飾り窓地区やただの喫茶店じゃない Coffee Shop を横目にしつつクラブに繰り出してみるのもTHEオランダ的体験になるはずですがなぜならオランダはDJ天国。国王の即位式でDJがクラブダンスミュージックをプレイするほどののですから！





アムステルダム(運河とはね橋の風景)



ルクセンブルグ(グルンドの風景)

「先進国における子どもの幸福度」総合1位！

そんな伝統的な面と破茶滅茶な面を併せ持つオランダですが、共稼ぎ家庭が多いかなぜ子供達は幸せなのか？それは「6時の夕食に家族全員揃う！」これが一日の最重要事項。このためにいかに仕事を終わらせるか親必死。ちなみに子供は8時迄には寝ます。この残業しない勤務姿勢&させない会社環境って子育てに重要な点。またパパが育児使ったり、パートに切替える方を多く見受けました。男性が積極的に家事や育児に参加している表れですが、これは正社員でもパートで働けるなど労働環境の違いでもあります。学校のあり方、教育方針も日本とは大きく違いですが、何より家族愛が築ける環境であることが幸福度1位である理由だと強く感じました。

最大のカルチャーショック、

オランダの中でもアムスという街は人口の半分が移民です。移民

は政府の政策の一環でオランダ語を受講することが義務付けられています。そしてそこでオランダ(欧州)が直面する移民問題の中に私自身も籍をおき衝撃を受けました。

クラスは中東やアフリカ出身者がほとんど。すでに働いている人たちはオランダ語の会話はできてても文法は間違いだらけ、筆記はスベル以前にアルファベットが怪しく、どうやら学歴が早い段階で途切れているらしい。PCを使った授業では操作に苦労している方もいました。はるばるオランダまでやって来た事情を聞いてみたかったのですが共通言語がなくて聞けませんでした。とにかく平和な島国の日本人には想像できない過酷な情勢・環境なんだろうと察しました。こういった移民や難民の問題が話題になるたび私は自分の道産子魂に気づかされました。道産子って寛容や度量が自然に培われているな。そしてふと旭川が移民の受入れを積極的に行ったら将来どんな化学反応が起こるだろうか？いつか砂漠の民が大挙して大雪山の大自然体験しに来ちゃうかも？

イスラム教徒たちの間でジンギスカン大流行しちゃうかも？など、旭川が彼らの癒しの街として有名になったら楽しいなあ妄想しています。

ルクセンブルグⅡ金持ちの国民

現在住んでいるルクセンブルグは、国土面積と人口が上川郡と旭川市の構図と良く似ています。しかし驚くべきは一人当たりのGDPなどの経済指標が世界屈指で「世界で最も所得が多い国民」と呼ばれていることです。どうりで街に行くと銀座みたいな雰囲気があるわけです。旭川も何かユニークな特徴を持った街作りで企業に着目してもらえないものかと日々ヒントを探しています。それこそ先に述べた移民受入れでしょうか(笑)

同窓会の成功、皆様のご健康とご活躍、旭川と北高の一層のご発展を祈願しています。



卒業50年、結束する18期

北海道旭川北高等学校同窓会顧問 川島 崇則（第18期）

第52回旭川北高同窓会の開催
おめでとうございます。41期当
番期の皆さん、本当にご苦労様
です。早いもので、我々18期も
卒業50年の招待期となりました。
23年前には我々が当番期とな
り、先輩たちから引き継いだ同
窓会総会・懇親会の一大イベン
トを成功させようと、開催の半
年前には50人ほどの同期生有志
が集結し、それが3ヵ月前には
100人近い仲間に膨れ上がり、
皆が知恵を出し合い、力を合わ
せて準備を重ね、第29回同窓会
を好評のうちに終了させるこ
とができました。そのことが、
ついこの間のことのように思い
出されます。

この時の同窓会開催で当番期

を務めたことが、その後の同期
の結束をより強いものにしまし
た。旭川のみならず札幌や東京
でも北高18期の団結力には誇れ
るものがあり、特に東京会では
会長の山口哲男君をはじめ幹事
長、副幹事長、会計部長、事務
局の大役を18期生が務め、東京
同窓会の要となつて活躍してい
ます。

また、旭川北高の卒業生がメ
ンバーとなり、鷹栖の山にある
学校林を守り、育て、市内の高
校生に奨学金を給付する活動を
続けている一般財団法人旭川北
高会も、理事長の八重樫和裕君
はじめ5名の18期生が理事・評
議員として加わり、活動を続け
ています。

1968年3月に旭川北高を
卒業した我々500名以上の
18期生は、50年の歳月をそれぞ
れが様々に歩んできました。す
でに鬼籍に入った仲間たちもお
りますが、訃報を聞かたびに、
ともに過ごした高校3年間の思
い出がくつきりとよみがえつて
まいります。

本日は41期当番期の皆さんに
より、伝統ある北高同窓会にお
招きいただいたことを、故人を
含め、18期生全員になり代わつ
て、心よりお礼申し上げます。
ありがとうございました。



同窓生から

●北高47期 大橋 綾子

●北高58期 松下 元 気

有名無実

—北高異端児への道—



北高47期
大橋 綾子

このお話を頂いた際、過去の『同窓会だより』を拝読し、お引き受けしたことを激しく後悔しました。自分には諸先輩方に続くような経歴もなく…。番外編的にお目に留めていただければ幸いです。

北高卒業後、数少ない就職組にて当時無資格でも働くことができた託児所へ就職。電話帳で調べて飛び込み面接してもらいました。1年を経て、今後保育に携わるには専門性が必要になると考え、旭川福祉専門学校を受験し直しました。進学校からの入学がほばないと聞き、根拠のない自信を持って特待生受験を試みる…。見事に玉碎し通常入学。北高卒業に胡座をかい

ていました。北高の先輩後輩は沢山活躍されているというのに、自分の北高卒業が有名無実ということを実感したのでした。

専門学校を卒業後、市内認可保育所に勤め結婚出産を機に退職。2児の母となりました。母になってからやっと人生に対して真面目に考えるようになりました。リトミック（幼児教育）指導員資格を取り主宰教室を開講。子ども達やママさん達と賑やかに過ごす傍ら、子育て支援士、子育て支援コーディネーターを取得。チャイルドカウンセラーや産後ケアリスト等も学びました。正直『学校で学ぶことなんて大人になってから役立つの？』と思っていたような高校生で、高校受験以来『学ぶ』ことを放棄してきたのに、30代で帳尻合わせするかのように学ぶ日々。『学校で学ぶことは大人になってから役立てるもの』なのですね。高校生には高校生の必要な学びがあって、そこをビューンと飛び越えて背伸びし過ぎていては、取り戻すのに結構



な時間を要するぞー！とコツコツ教えたいです。後悔こそありませんが、できれば娘達には『学生時代には学生らしい、学生っぽいことをして欲しい』と感じています。

現在は幼児教育と子育て支援に携わるお仕事をさせていただけるようになり、充実した日々です。親子体験型イベントの企画・運営を行う市民活動団体「WORKSHOP COLLECTION」の代表として、旭川や近郊の子ども達に様々な体験をもらいう時間・空間を創り出したり、昨年、旭川で民間では初のJOB COLLECTION KIDSというオシゴト体験イベントを主催しました。沢山の子どもの笑顔と生

き生きとした瞳は地域の宝ですね。子ども達には、その時その時を一生懸命に生きて欲しい！と願っています。でも…もし失敗してしまったと感じている子ども達がいたらきっと私は言います。『やり直しのきかない人生なんてないよ』

北高異端児への道は今後も続きます。北高卒業が私にとって有名無実では終わらないように精進してまいります！

最後に同窓会誌寄稿という、高校時代を振り返るとても貴重な機会を頂戴し深く感謝しております。ありがとうございます。



あれから8年



北高58期
松下 元気

旭川北高を卒業してから8年が経ち、気づけば26歳になりました。

進路に悩んだ高校3年生。漠然と大学には行ってみたくても何を勉強しに行けばいいのか悩み、大学は夢を探すために行こうと決めました。環境の全く違う場所へ行けば何かあるかもと北から一気に南の沖縄、琉球大学に進学しました。

教育学部に通い、平和ガイドのボランティアをしたり、サークル活動もいろいろしたりもしましたが、結局見つけたものは音楽でした。友達と一緒にバン

ドをやろうと言われ、始めてみたコンテストで優勝、CDリリースが決まり、それを機に上京。東京生活も3年目を迎え、現在もバンド活動が続いています。未だに電車には慣れず、人の波に乗ってうまく乗り降りができません。

今回同窓会のアトラクションでぜひ歌ってくれないかと僕が通った鷹栖中学校で当時教諭をされていた幹事の小野祥康先生からご連絡をいただきました。時が経っても気にかけていただけていたことも嬉しかったですし、大好きな旭川北高の同窓会で、先輩方の前で歌う機会をいただけたこと、本当に嬉しく思います。

少しでもみなさまの心に残る空間を作れたらと思っています。お会いできるのを楽しみにしています。どうぞ宜しくお願い致します。

第52回北海道旭川北高等学校同窓会

アトラクション



松下元気さんのアトラクションは、松下さんが今当番期同窓会実行委員である小野祥康くんの中学時代の教え子だったことが縁で実現しました

時が経っても、遠く離れていても、同じ空の下『北高魂』で繋がっていたことに、ただただ感謝です

今日は、北高同窓生の皆さんの前で15分ほどの短い時間ではありますが、懐かしい我が家に帰って第一声「ただいま」の気持ちを込めて歌います

演奏曲

★HOME

★きっと大丈夫

ほか

the sheep (ザ・シープ) 松下元気さんのプロフィール

ホームページより引用

『唄え!羊毛系男子!!』

松下元気は北海道鷹栖町で父親の影響でフォークソングを聴いて育つ。旭川北高校卒業後、進学先を選んだのは真反対の沖縄の大学。入学後、山口県のこれまた田舎町で育った末光真規と出会い、2人でバンドを結成。しかも末光はこの時初めてドラムを始める。

2011年にBa.仲嶺が加入しバンド名を「the sheep」と命名、翌2012年にはGt.下地も加入し、沖縄県内で精力的にライブ活動をスタート。同世代を中心に注目を集め、同年12月に開催された音楽コンテスト「auオキナワミュージックグランプリ」にてグランプリを受賞。副賞として、イベントの審査委員長でもある音楽プロデューサー亀田誠治氏のプロデュースで受賞曲「春、はじまり」を東京でレコーディング、2014年3月に同曲を含むアルバム「春、はじまり」を全国リリースし、それを機に東京に活動の拠点を移す。

上京して半年後、Gt.下地が脱退するが、上京後1年以内に東京でワンマンライブをするという目標をたてていたメンバーは、ライブハウスからストリートまでライブを重ね、2014年4月に渋谷Milkywayで初の東京ワンマンライブを開催、超満員約200人を動員した。またこの頃よりサポートでキーボードを入れた編成でのステージが多くなりサウンドの幅が広がる。

2015年10月にはライブでは必ずラストを飾っていた「アイ」を上京後初のシングルとして発売。

しかし、リリース後の沖縄ワンマンライブを最後にBa.の仲嶺が脱退しメンバーは2人になるが、「このピンチをチャンスにしよう!」と松下と末光2人で全国47都道府県ストリートライブツアーをすることを決め、沖縄ナンバーのオンボロ軽ワゴンを走らせて全国各地の路上で歌い始める。

2016年4月23日には上京2年目にして2度目の、渋谷Milkywayでのワンマンライブを開催。

そして、2016年11月17日には沖縄から上京する際に目標としていた挑戦「TSUTAYA O-WESTワンマンライブ」を開催し、約250人を動員。

正直、生き方に不器用な性格だから前に進むのにもがき苦しんでばかりの2人。

でも、だからこそ作れる音楽、だからこそ届けられる音楽があると信じている2人。

今日も誰かの心を温めるために迷える子羊達は、大きな声でアイを唄う!

Vocal&Guitar : 松下 元気 (Genki Matsushita)
Drums : 末光 真規 (Manami Suemitsu)



(向かって左側が松下さんです)

2017・8・12
GENKI MATSUSHITA
SPECIAL LIVE
FROM the sheep



進路指導部 (全日制) 高井 隆行

【国公立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H24	H25	H26	H27	H28
北海道大	11	12	17	3	7
北海道教育大	19	24	30	26	30
室蘭工業大	4	3	7	11	6
北見工業大		4	4	4	1
小樽商科大	3	8	5	4	6
帯広畜産大	3		1	1	3
旭川医科大	6	2	5	4	10
弘前大	13	6	8	8	8
岩手大	1	3	6	6	1
東北大		2	1	2	1
秋田大	1	1		1	1
山形大	4		6	3	1
茨城大	1			2	2
筑波大		1	1		1
宇都宮大	2			1	2
埼玉大	6		2		2
千葉大		1			1
都京大	1	1		1	
電気通信大	2				
東京学芸大	1				
東京工業大		2			
東京外語大			1		
東京農工大		1	1		
横浜国立大	1	1		2	
新潟大	7	12	7	4	7
岐阜大				1	
金沢大			3	3	2
信州大	1		3		2
静岡大	3		3	1	3
名古屋大	1		1	1	
京都大		1	1	1	1
京都工芸繊維大		1			
大阪大					1
神戸大	1			2	1
広島大	2		1		
長崎大				1	1
琉球大	1	1		1	
札幌医科大学	1	1		3	3
公立はこだて未来大	1	3	2	1	1
釧路公立大	6	7	2	2	2
札幌市立大	4	2	1	2	6
名寄市立大	5		5	3	7
高崎経済大		3	2		
千葉県立保健大	1			1	
首都大東京	1			1	2
横浜国立大	2		2		
都留文科大		1			
神戸市外国語大		1			
その他	11	8	13	2	9
国公立大計	125	113	141	109	131

*旭医大 医学科 H23(1), H24(3), H26(2), H27(1), H28(2)

【私立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H24	H25	H26	H27	H28
藤女子大	8	15	5	12	6
北星学園大	15	18	12	15	15
北海学園大	34	21	44	29	30
天使大	6	3	3	5	4
北海道薬科大	7	6	5	7	6
酪農学園大	5	4	4	4	6
北海道医療大	19	12	15	13	12
日赤北海道看護大	2	1	5	6	6
北海道文教大	11	13	6	11	7
獨協大	2	1		1	2
青山学院大	3	1	5	4	2
学習院大		1		1	1
慶應義塾大		1			
東京女子大	1		1	1	
駒澤大	2	3	1	3	
上智大	3				1
専修大	1	2		1	4
創価大	2	6	1	2	2
中央大	8	8	8	5	14
津田塾大	1				2
東海大	3	3	3	3	1
東京農業大		3	2	7	3
東京理科大	4	3	3	3	2
東洋大	4	3	5	3	7
日本大	4	2	5	2	2
法政大	3	5	9	9	8
明治大	3	2	7	6	3
明治学院大	2		3	2	1
立教大	6	2	3	6	1
早稲田大	3	3	1	3	1
神奈川大	5	3	2	3	2
京都外大				1	1
同志社大	2	1	1	1	5
同志社女子大					
立命館大	1	3	6	1	2
関西大			1		
関西学院大	1	3	2	3	
その他	66	46	81	80	75
私立大合計	236	217	249	253	234

【公務員・民間就職 合格者数】(現役)

種類	H24	H25	H26	H27	H28
国家公務員		1	1	3	
道職職員	2	1		2	1
市町村職員		3	2	2	1
他の公務員			1	1	
民間就職		1			1

平成28年度の卒業生は、単位制導入後、9回目の卒業生になりました。

単位制の進路指導では、1年次より、将来を見据えて、大学で何を学びたいのかを具体的に考えさせることから始まります。

また、道内外の大学による説明会や出張講義などの実施、またオープンキャンパス等への積極的な参加の奨励などが特徴としてあげられます。近年では若手の同窓生が中心となり、自分の職業について生徒に語る「先輩図鑑」という企画も実施され、参加した後輩達に好評です。このように早期より本物に触れさせることによって、自分が将来、どのような職業を目指し、そのためにどの大学を目指すのかという目標を、できるだけ明確に持てるように進めています。

この年次は、1年次のときから、森年次主任を中心に、学習指導、進路指導に積極的に取り組み、自分の進みたい進路を明確にし、最後まで納得のいく受験を貫くことを目標に伸ばしてきた学年です。生徒の学習へのモチベーション維持に努め、進路ノ

ートの活用、教科ごとの模試分析や生徒一人ひとりの進路検討会や個人面談を重ね、細かな指導を継続的に実施してきました。

今春の大学入試センター試験では、2年続いて易化した「国語」が急激に難化し、全国平均点が大幅に下がりました。本校でも少なからずその影響を受けました。逆に、英語と生物基礎が易化して点数が伸びたため、文系の生徒の中にはそれなりに手ごたえを感じて、出願した者もいました。しかし、最近、道外人気が高まる北海道大学に合格するには、二次の個別試験をクリアする力も高まっており、本校の北大への合格者は前年度から微増と厳しい結果が続いております。高大接続改革が進む中、各大学の多様化する入試に対応できる力の育成が求められます。

本校の最終的な大学入試の結果は、国立大学の現役合格が前年比10名増の107名となりました。この背景のひとつは「受験は団体戦」を合言葉に結束力のある年次の雰囲気プラスに作用したと考えます。

同じ進路目標の者が集まり早期から受験対策に取り組んだ結果、旭医大医学科に2名、看護科に8名もの合格者を出しました。また、札幌医科大学に1名、大阪大学に1名、東北大に1名、神戸大に1名現役合格者を出し、健闘しました。

私立大学でも、首都圏の早稲田大を初めとする難関私立大だけでなく、国際基督教大など自分が求める学びがある大学や、自分が挑戦したい研究により高度に取り組める環境のある大学などを積極的に調べ、自分に合った私立大学に進学する者も増加しています。

以下には過去数年間の主な進路実績を示します。単位制になり国立大学への進学者を増やしてきましたが、進路学習を進める上で、特徴的なカリキュラムを持つ、私立大学への志願者も出てくるようになりました。今後もきめ細かい進路指導を推進し、生徒個々の生き方を大事にした進路選択を支援していきたいと考えています。

難関国立大、医学科合格者数 (現役)

大学名	H13	H14	H23	H24	H25	H26	H27	H28
北大(文系)	1	1	2	3	3	2	1	
北大(医理系)	10	5	12	3	7	11	1	5
札幌医大(医)								1
旭医大(医)				3			1	2
東北大	1		3		2		1	1
筑波大		2	1			1		
東京工業大					2			
東京外国語大			1			1		
名古屋大			1				1	
京都大								1
大阪大			1					1
神戸大				1			2	1
計	12	8	21	10	15	16	7	11

平成28年度 進路別人数 卒業生の進路

区 分				合 計			前年	
				男	女	計		
卒業生数				114	123	237	239	
進学希望者数				113	121	234	236	
進 学 者 数				82	111	193	203	
進 学 先 内 訳	大 学	国公立	道 内	29	44	73	57	
			道 外	16	13	29	36	
		私 立	道 内	17	24	41	45	
			道 外	18	15	33	34	
	短 大	国公立	道 内	0	0	0	0	
			道 外	0	0	0	0	
		私 立	道 内	0	4	4	7	
			道 外	0	0	0	1	
	大 学 校 等			道 内	0	0	0	0
				道 外	1	7	8	10
		専 門 学 校	看 護	道 内	0	0	0	1
				道 外	1	3	4	9
就 職	公 務 民	その他	道 内	0	1	1	3	
			道 外	0	0	0	0	
		営： 家 事 手 伝			0	0	0	0
					0	0	0	0
その他(未定を含む)				31	10	41	33	

国立大学現役合格者数及び1クラスあたりの平均合格者数

卒業年度	H13	H14	H23	H24	H25	H26	H27	H28
学 級 数	8	8	6	6	6	6	6	6
合 格 者 数	90	93	106	104	91	120	97	107
人 / クラス	11.3	11.6	17.7	17.3	15.2	20	16.2	17.8

17部活動報告

平成28年度の成績（大会の結果等）を中心とした部活動の紹介及び近況報告です。なお、平成29年度は多くの部活動が全道大会に出場しましたが、その成績については、来年の会誌でお伝えします。

●野球部

野球部は、3年生13名、2年生7名、1年生13名、マネージャー4名の計37名で活動しています。

昨年の秋季大会では、旭大高と戦い、前半リードしていたにもかかわらず、8回9回到得点を許し、4―7で逆転負けを喫しました。この悔しさを晴らそうと冬季練習では弱点の克服はもちろん、積極的に筋力トレーニングを行い、食事面も見直し、身体づくりに励みました。しかし、春季大会では、旭川西に積極的に打ちにいけずに0―6と大敗しました。

3年生にとっては、6月27日から最後の夏の選手権大会が始まります。なぜ負けたのかという課題はたくさんあります。北高野球部は、10年間甲子園出場はかなわず、全道大会にも出場できていません。どんなに力がなくても、かつての先輩方は必死に技術を獲得し、北高生としての自覚をもって、勝ち上がっていたと聞きました。残り日数で、北高野球部の歴史を変えられるように、チーム全員で勝利に向かって頑張ります。

●ソフトテニス部

今年度は3年生6名、2年生1名、1年生11名の女子計18名と、賑やかで活気ある状況が実現し、5月には高体連支部予選の当番校を務めました。高体連の団体戦では、予選リーグを全勝して1位で通過し、気合い十分で大会最終日の決勝トーナメントに駒を進めました。しかし、いざ試合が始まると緊張とプレッシャーから予選リーグで見せた勢いを再現することができず、残念ながら全道大会の出場権を獲得することはできませんでした。3年生は高体連を最後に涙の引退を迎え、その悔しさは後輩に引き継がれることになりました。

現在は2年藤田部長、1年鈴木副部長の新体制のもと、経験者も初心者も一緒にあって、日々懸命に練習に励んでいます。まずは夏の国体、そして秋の新人戦での全道大会出場が目標です。部員同士の仲も良く、楽しみながら練習に取り組んでいます。

昨年度は入部者1名で存続の危機を感じていましたが、4月には9名の新入部員を迎え、さらに2名が途中入部で加わって、3年生引退後も活気ある活動を維持できています。今後とも北高ソフトテニス部への応援をよろしくお願いいたします。

高体連支部予選結果

団体戦

決勝トーナメント1回戦

旭川北 0―2 旭川明成

●硬式テニス部男子部

今年度の男子テニス部は、3年生7名、2年生6名、1年生8名の計21名で活動している。昨年度の新入戦の団体戦では、2年連続で全道大会に進出することができた。

昨年度の雪辱を果たすべく全道に向かったが札幌南高校に2―3で惜敗した。もう少しというところではあったが、やはり札幌の代表校を倒すまでには至っていないと感じた。

そして、高体連。団体戦で平成14年以来の準優勝となり、全道出場を果たした。個人戦もダブルスで5位（全道進出）、シングルスは3位（全道進出）と団体戦の勢いを個人戦でも発揮できた。加えて個人戦で全道にいく選手は2年生のため、今後もしみである。全道大会は、北見で行われる全道で通用するように準備してきたことを、存分に発揮し、少しでも結果を残していきたいと考えている。その後新体制となるが、1・2年生の14名で、先輩方を越えるように熱心に練習している。テニスを通して自分と向き合うことで、積み重ねることの大切さや、周囲の支えを感じ、それらは自分の成長へつながっている。本年もさらに高みを目指して、部員一丸となってテニスに打ち込んでいきたい。

●硬式テニス部女子部

女子テニス部は、5月に行われた高体連旭川支部予選で、団体戦は第3位、個人戦ダブルス優勝（同一ペアによる2連覇）、個人戦シングルス優勝（同一選手による3連覇）という結果でした。特にシングルスは4年連続北高生が優勝しました。6月に行われる全道大会では、上位進出を目指し練習に励んでいます。

今後は新チームに移行となり、現2年生3人に新入部員6人を迎えての活動となります。新入部員は初心者ばかりとなりますが、秋季大会に向け頑張らせたいと思っています。

●男子バレーボール部

今年は、選手・マネージャー合わせて24名でスタートしました。平均身長は、例年よりも低く、高さはなくても個々で光るものを持っていましたが、なかなかうまく噛み合わず残念ながら今年の春季大会・高体連旭川支部予選会では、旭川西高校と旭川工業高校に、接戦の末敗れてしまい目標としていた2年連続高体連全道大会出場を果たすことができず、とても悔しい思いをしました。ただし、開会式での入場行進賞を2年連続で獲得したので、後輩たちには来年も全道大会出場と行進賞を目指してもらいたい。今年のチームのレギュラーは、全員3年生だったので、新チームでは沢山の試合経験と毎日の厳しいトレーニングを通してチーム力向上を図り、高さがない分コンビネーションの工夫やサーブの強化などを中心に練習に取り組み、新しい北高バレーで強豪校にも負けないチームを作ってもらいたい。来年こそは、後輩たちに旭川地区を勝ち抜いてもらいたいと思います。ですので応援よろしく願います。

（大会結果）

◇旭川支部春季大会

2回戦 旭川北 0―2 旭川西

◇高体連旭川支部予選会

予選グループ戦

旭川北 0―2 旭川工業

旭川北 2―0 旭川高専

決勝トーナメント戦

旭川北 0―2 旭川工業

●女子バレーボール部

平成29年度は、3年生7名、2年生7名、1年生8名+マネージャー1名の合計23名



で活動を開始しました。今年度はシード校にチャレンジするだけではなく、シードを破って全道大会に進出する事を目標にしていました。迎えた春季大会は旭川西高に2-1で競り勝ち、旭大高と対戦しました。0-2で破れましたが、1セット目16点、2セット目も19点、得点を奪うことができ大きな自信になりました。高体連の予選ブロック戦は力の接近した3チームの山になりましたが、第1試合の羽幌高校との試合で2-1のフルセットで接戦を制することができました。決勝トーナメントでは第4シードの留萌高校との対戦となりました。「今年こそ」と勝利を目指し戦いましたが、力及ばず悔しい敗戦となりました。今後はもっと力をつけて、シードを必ず獲得したいと思っています。

◇旭川支部春季大会

1回戦	旭川北	2-1	旭川西
2回戦	旭川北	0-2	旭大高

◇高体連旭川支部予選

予選ブロック戦	旭川北	2-1	羽幌
決勝トーナメント戦	旭川北	0-2	留萌

●サッカー部

サッカー部は現在、3年生が引退し、2年生16人、1年生17人、マネージャー2人、顧問の菅井先生、安藤先生の計37人で毎日楽しく全力で活動しています。

高体連は、2回戦の富良野緑峰戦からの出場となり、良い緊張感の中7-0と快勝したものの、つづく3回戦の旭川商業戦は0-2と力の差を見せつけられ、全道大会出場を逃してしまいました。

この結果によって、自分たちの力のなさや努力の少なさを実感させられたので、今後はこの悔しさを反省点を生かし、新チームの目標として「歴代サッカー部の記録更新」を掲げ、日々努力していきたいと思っています。これからも引き続き応援宜しくお願いします。

●卓球部

高体連旭川支部大会の結果は、男子学校対抗戦で惜しくも第3位で、女子学校対抗戦は人数不足でオープン参加ながら善戦しました。個人戦では男子ダブルスで長谷川・宍戸組が第5位、女子ダブルスで塩飽・佐々木組が3位、男子シングルスで長谷川が第5位、女子は佐々木が1年生ながら3位で全道大会出場を決めました。

○高体連旭川支部予選結果

・男子学校対抗戦予選トーナメント	旭川北	3-0	旭川南
・男子決勝リーグ	旭川北	3-1	旭川東
	旭川北	0-3	旭川実業
	旭川北	2-3	旭川実業
	旭川北	3-0	留萌

●バドミントン部

バドミントン部は男子27人、女子23人の計50人で活動をしています。男女ともに仲が良く、どんな辛い練習でも協力し、毎日明るく練習に取り組んでいます。

今年も、顧問の先生をはじめ、OBやOG、大学生や実業団選手の方々など多くの方々の応援とご支援をいただき、新人戦全道大会では女子団体準優勝、個人戦ではシ

ングルスで3位をはじめ、ベスト8以上に3名が入るといふ結果を残すことができました。また、高体連全道大会では女子が団体戦、個人戦ともに出場することができました。

今後、より一層練習に励み、より良い成績を残せるように、そして一番の目標であるインターハイ出場を目指してみんなで切磋琢磨して日々努力していきたいと思っています。

【主な大会結果】

高体連支部大会及び各種全道大会

◇北海道高等学校新人大会

平成29年1月11日～14日	女子団体	準優勝
	女子複	2回戦敗退
	女子単	第3位
	片渕・笹谷	ベスト8
	小中	ベスト8
	中村	ベスト8

◇国民体育大会北海道予選

平成29年5月12日～14日	女子複	旭川市
	女子単	ベスト8
	片渕・笹谷	3回戦敗退
	小中	1回戦敗退
	中村	旭川市

◇高体連旭川支部大会

平成29年5月29日～31日	男子団体	旭川市
	女子団体	ベスト8
	男子複	準優勝
	女子複	3回戦敗退
	川等・田口	3回戦敗退
	江淵・西山	3回戦敗退
	片渕・笹谷	第3位
	小中・中村	ベスト8
	岡田・志摩	2回戦敗退
	川等	ベスト8
	江淵	ベスト8
	西山	1回戦敗退

◇高体連全道大会

平成29年6月13日～16日	女子団体	準優勝
	女子複	第3位
	片渕・笹谷	ベスト8
	小中	
	女子単	
	笹谷	
	女子単	
	中村	

●剣道部

現在剣道部は新入生男女各1名を加えて男子6名、女子4名で活動しています。少ない部員ですが先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎ、「全道優勝」を目標に、「人間形成」を目的に日々練習に励んでいます。凛とした姿で澁刺と活躍できる剣道部を目指しています。勉強と部活動は支え合うのではなく、それぞれ強くなる道は同じであるという考えのもと、生徒には切り替えをしっかりと高校生活を充実させて欲しいと思っています。

今年もチームを組むのがやっとですが、北高剣道部の伝統を守るために必死に頑張っています。2年前から女子の3人制の部門が新設されましたが、昨年度はその3人制の全道新人大会で女子が優勝することができました。練習の成果はできていますが、試合の結果だけにとらわれることなく、これからも魅力的な剣道部づくりを目指して頑張っていきたいと思っています。日頃から北高の活動を支えてくださっている方々にこの場を借りてお礼申し上げます。これからもご支援、ご声援のほど、よろしく願います。

平成28年度主な大会結果

・高体連旭川支部大会

男子団体3位

女子団体3位

・高体連全道大会個人出場

森下恭時(3年)

・高体連旭川支部新人大会

男子団体2位

女子団体Ⅱ部優勝

・高体連全道新人大会

女子団体Ⅱ部優勝

●陸上競技部

陸上競技部は今年度多くの部員が全道大会に出場しました。入賞したのは5名で、そのうち4名は全国大会進出が決まりました。入賞者は次のとおりです。

・女子5000m競歩

工藤 唯 優勝(全国大会進出)

・男子110mH

小島 龍大 3位(全国大会進出)

・女子400mH

世坂比奈子 5位(全国大会進出)

・男子三段跳

中里 光孝 5位(全国大会進出)

・女子混成7種

中西 麻実 4位

また、男子 4×100mリレーと4×400mリレーは予選を突破し、準決勝に進出しましたが、惜しくも決勝進出はできませんでした。

全国高校総体は7月29日(土)から8月2日(水)まで山形県天童市のNDソフトスタジアム山形で開催されます。

●男子バスケットボール部

今年度は3年生10名、2年生9名、1年

生8名とマネージャー4名の31名で活動しています。昨年度は高体連・新人大会とも2位で全道出場を果たしました。今年は春季大会で優勝、そして高体連においては初優勝を飾り、2年連続全道出場を獲得しました。この7年間で6度ベスト4に入っている土台の上での優勝だと思います。今後とも、その伝統を引き継いでいけるように頑張ります。

◇旭川支部春季大会

1回戦	旭川北	88―64	旭川南
2回戦	旭川北	94―47	旭川西
準決勝	旭川北	69―63	旭川工
決勝	旭川北	68―65	旭川永嶺

◇高体連旭川支部予選会

2回戦	旭川北	84―61	富良野
準々決勝	旭川北	73―57	留萌
決勝リーグ	旭川北	78―58	旭大高
	旭川北	62―57	旭川工
	旭川北	77―73	旭川永嶺

●女子バスケットボール部

私たちは、ブレイヤー3年生4名、2年生2名、1年生9名の計15名で活動しています。昨年は全道大会に出場できませんでしたが、夢の全国大会出場へ向け、『心をこめて』頑張ります。

○選抜旭川予選	2回戦敗退
○新人旭川予選	2回戦敗退
○旭川地区春季大会	2回戦敗退
○高体連支部予選	2回戦敗退

●ソフトボール部

私たちソフトボール部は、「打倒旭商！小野崎先生に勝利を！」を目標に顧問の小野崎先生、本田先生をはじめ、たくさんの方々に支えられながら、日々楽しく一生懸命活動しています。夏は合宿や遠征で練習試合をして経験を積み、冬は個々の技術を上げるために、階段ダッシュや羽打ちをしています。

今年の高体連では3年生が1人しかいない中、とても辛い状況でしたがチーム一丸となって戦うことができました。攻撃ではつなげるバッティングで相手のミスを誘い、得点を重ねることができましたが、守備で守りきることができず、惜しくも負けてしまいました。しかし、その試合では良い雰囲気の中、みんなが楽しんでプレーをしたリチームの団結力が感じられ、とても良い試合だったと思います。

新チームでは、先輩から教わったことを大事にし、新人戦で旭商に勝って全道大会に行けるように、感謝の気持ちを忘れずに日々の練習を頑張っていきたいと思っています。どうかこれからも応援をよろしくお願いします。

●山岳部

山岳部は竹中先生・細野先生・及川先生の指導の下、男子11名女子3名で活動しています。1年間に登った山は、旭岳・トムラウシ山・白雲岳等の大雪の山、富良野岳・十勝岳・オプタテシケ山などの十勝連峰、芦別岳・夕張岳などです。夏合宿では、2泊3日で日高山脈の幌尻岳に登りました。カール(氷河地形)に泊まることができました。積雪期も、読図訓練を兼ねて、近郊の山でススキーを楽しんでいます。



山に登るための装備や食料は、自分たちで準備します。時間がかかりますが、人に頼らない心が育ちます。平日には、週2回のランニングとストレッチを行っています。山岳部は11年連続で全道大会に出場しています。今年の全道大会は室蘭岳などで行われました。大会には1校4人のパーティに参加します。今年は、男子は13校が参加しました。登山は、隊長を先頭に13校がまとまって行動します。競争をするわけではありませんが、隊行動に遅れない体力と歩行技術のあることが上位入賞の最低条件です。大会は山に登るだけではなく、ペーパーテストや行動中テストにより山域の自然(植生・地形・地質)・地図を読む力・気象や応急処置の知識・幕営技術・調理・登山の記録の作成など、登山に関わる全てのことが審査されます。登山大会の前は、通常の活動以外に、計画書の作成や、気象・地図・植生などの学習を行いました。大会中は顧問と選手は接触できない原則なので、

4人で協力して4日間を過ごさなければなりません。

今年は9位でしたが、体力・歩行以外の項目の合計点は1位でした。来年は、優秀校を目指します。

●少林寺拳法部

今年度は、男子11名・女子15名の計26名で活動しています。昨年度の新人戦全道大会では男子規定組演武1位、女子自由組演武2位となり、全国大会出場を果たしました。6月の高体連全道大会では残念ながら全国大会出場を逃しましたが、12月の新人戦では男女ともに全国大会に出場できるように今後も練習に励んでいきたいと思っています。



高体連全道大会

〈男子〉

団体演武

石川③・大根昇②・大根幸②・中村②
矢尾②・安館②・三井①・佐藤①組

3位

組演武 大根昇②・大根幸②組 4位
見習単独演武 三井① 2位

佐藤① 本選出場

〈女子〉

団体演武

杉山③・熊谷③・東②・奥澤②

林②・安原②・北條③・志賀②組

2位

組演武 杉山③・熊谷③組 5位

安原②・志賀②組 本戦出場

単独演武 東② 本選出場

奥澤② 本選出場

総合 2位

●アーチエリート部

アーチエリート部は3年9名、2年18名、1年20名の計47名で活動しています。昨年度に続いて1年生が多数入部し、大変ありがたくうれしい反面、弓具の調達や練習場の確保に苦労しています。

6月7日からキロロで行われた春季全道大会（高体連）では、女子としては1999年以来の団体優勝を果たし、宮城インターハイの出場権を得ました。全体の競技レベルが向上しており厳しい戦いが続きますが、インターハイでは上位入賞をめざして頑張っていきたいです。

現在はインターハイ以外にも、愛媛国体への出場や、さらに秋季全道大会（新人戦）で全国選抜大会の出場権を得ることを目標に、練習に励んでいます。なお8月に静岡県で開かれる全国高等学校ブロック対抗戦（1・2年生の代表選手による強化事業）に、北海道ブロック代表として本校の男子2名・女子1名が出場予定です。出場する3名にとっては初の全国規模の大会となりますが、多くのことを学び、刺激を受け、

次に生かせたらと思っています。

また、3年の中村美優が昨秋、U-20日本代表に選ばれました。今年3月にはアジアカップバンコク大会に出場しています。10月には世界ユース選手権アルゼンチン大会にも出場予定です。

故佐藤正志先生のご尽力によりアーチエリート部は全国的な強豪校となり、その伝統は今も残っています。復活を目指してこれからも部員一同努力していくつもりです。で、どうか応援をよろしくお願いいたします。

全国選抜大会（3月・静岡）

女子3名出場（中村・佐藤・木村）

春季全道大会（6月・キロロ）

女子団体優勝（中村・佐藤・川島）

女子個人

1位（中村）、3位（佐藤）、

4位（竹内）、5位（川島・森田）

男子個人

3位（土屋）、5位（竹本）

●囲碁部

今年度の全道高等学校囲碁選手権大会が札幌西高等学校で5月18日～19日に開催されましたが、本校からは出場いたしませんでした。

●吹奏楽部

吹奏楽部は今年1年生9名を迎え、総勢40名で『お客様に感動して頂ける演奏』を目指して部員全員が一丸となって精力的に演奏活動を行っております。

現在は、北高祭や吹奏楽コンクール、第42回定期演奏会に向け、毎日練習に励んでいます。

校内活動…入学式・新入生歓迎会・野球応援・北高祭・卒業式等各種行事にて演奏

【平成28年度の活動内容及び成績】

○高文連上川支部音楽発表大会

吹奏楽コンクール部門 奨励賞

○北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選

高等学校A編成の部 銀賞

○北海道管楽器個人・アンサンブルコンクール旭川地区予選

トロンボーン独奏 金賞

クラリネット六重奏 銀賞

サクソフォーン四重奏 銀賞

○第4回スプリングコンサート開催（於…旭川市大雪クリスタルホール音楽堂）

○第41回定期演奏会開催（於…旭川市民文化会館大ホール）

○末広地区ふれあいコンサート参加

●美術部

今年度部員は1年生8名、2年生6名、3年生7名の合計21名（男子部員4名）となりました。5月の実技研修会が終わり、現在は北高祭装飾に多くの部員が関わり、連日会議を行っています。例年通り北高祭ポスター、マスケットキャラクターは美術部員の作品が採用されました。北高祭終了後は高文連の作品制作に集中します。ここ数年、15名以上の部員が全道大会へ出場しており、平成24年、25年は2年連続で総文祭（全国大会）へも出品していますので、今年も完成度の高い作品を仕上げてくれることを期待しています。放課後の美術室は部員以外に美術大学志望生徒がデッサンに取り組んでおり、活気があり、よい刺激となっています。

平成28年度全道大会結果
全道優秀賞3名 入選8名 参加全16名



の展示と高文連に向け、各々が一生懸命作品制作をしています。

高文連の大会で研修をするのはもちろん、その後も作品鑑賞や他校との交流で刺激を受けたことを生かして、日々書道教室で和気あいあいと書いています。

春休みには上川地区合同合宿に参加し、年度の締めには自分の力量を測るとともに、全国レベルの作品から学び、他校の先生に講評やお手本を書いて頂くなど、貴重な経験となりました。本当にたくさんの方の事を学び、大変充実した合宿でした。

現在は週に3日で活動し、講師の照井先生や顧問の高橋幸生先生のアドバイスを参考に活動しています。

書道部はこれからも楽しくかつ有意義な部活動を発展させ長年続く伝統を後輩に継承するという自覚を持って自らの課題に挑戦します。

●音楽部

部員数は50名になりました。音楽部室は手狭で活動場所と時間の確保が悩みの種ですが、軽音楽（バンド演奏）を中心に、積極的に活動しています。

活動は北高祭を中心に、図書館コンサートやクリスマスイベント・ライブなどで、主にJポップの曲を演奏しています。また北高祭では「テーマソング」も作曲しています。

昨年は先輩方がライブ演奏で、前後祭や本祭を盛り上げました。私たちも後に続くよう、頑張っているところです。

●書道部

今年度は、3年生3人、2年生2人、1年生10人で活動しています。現在は北高祭

●演劇部

今年度は1年生が5名入部し、2年生2名、3年生3名の合計10名で活動しています。

高文連上川支部演劇専門部では、各高校の演劇部員が「劇団氷点華」を結成し、毎年春に合同公演を行っています。今年も5月27日（土）に旭川市公会堂で、丸子修学館高校演劇部&羽場小百合作、「K」という作品を上演しました。本校部員も2、3年生は昨年度末から、1年生も入学早々に練習を始め、キャストやスタッフとして活躍しました。入場者も多く、立ち見が出るほどの盛況でした。

合同公演を終えた今は、学校祭に向けて新たな劇の練習をしています。また、ここ数年は自分たちで台本を作るという方針が本校演劇部にも浸透しており、今年も秋の

高文連の大会で自分たちの思いを込めた創作劇を上演できるよう、そちらの方も頑張っているところです。

●華道部

私たちは現在、2年生1名、1年生5名の計6名で毎週水曜日に楽しく活動しています。

少人数で、中には初心者もありますが、立岩先生にご指導頂き、一人ひとりが着実に上達しています。毎回種類の違う花材を使っているのでもなかなか思い通りに表現できないこともあります。季節ごとに異なる様々な花と触れ合うことができます。

学校祭では、日々の稽古の成果を発揮するためより一層心を込めて作品を作り上げます。普段よりも豪華な花材、花器を使う個人の作品のほかに、部員みんなで一つのセンターピースを生けます。ご来場の方々に花を通して癒しを提供できるように工夫しています。

毎年秋にはインターネット花展に出品し、出展作品はウェブ上でご覧いただけるようになっていきます。普段とは一味違う活動でとても勉強になります。

この伝統ある華道部と日本の華道の精神を守り、より一層飛躍していきたいと思っています。

●茶道部

平成29年度、1年生の入部は女子10名で、2年生7名、3年生7名、計24名で活動しています。月曜日は技芸講師の立岩先生のご指導のもと稽古に励み、木曜日は自主練習で、3年生が中心となり基本練習の席入や帛紗さばき等の割稽古を行っています。5月には、同門会の春のお茶会に参加するな

ど、積極的に校外のお茶会に参加しています。7月の学校祭は、日頃の活動成果を披露できる唯一の場です。より上達したお手前を披露するために昨年から取り組み、各々が時間をみつけてはお手前の練習に励んでいます。

3年生は7月で引退し、8月からは2年生が中心となり部活動が行われます。1年生と共に歴史ある北高茶道部の伝統を受け継いでくれることを願っています。

これからも茶道を通して礼儀作法や人を中心もてなす精神を学び、心豊かな人間になれるよう稽古を積んでいきたいと思っています。

●インターアクト部

私たちインターアクト部は、旭川北ロータリークラブのご支援のもと、ボランティア活動を中心とした様々な活動に取り組んでいます。

インターアクト部は、インターナショナルとアクションを組み合わせた造語で、国際的な視野に立ち、ボランティア活動を通して地域社会に貢献することを目的としています。毎週の定例ミーティングで、「自分たちができること」を部員同士で相談しながら、ボランティア活動に取り組んでいます。活動内容は次の通りです。これからも頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

①美化活動

- ・旭川冬まつり会場跡地の清掃活動
- ・春季・秋季ごみのポイ捨て禁止運動への参加
- ・校内の清掃
- ・学校敷地内及び周辺のごみ拾い

②募金活動

- ・ペットボトルキャップ・リングブルの回収
- ・赤い羽根共同募金活動の実施ならびに赤い羽根共同募金活動への参加
- ・あしなが学生街頭募金活動への参加
- ・FNSチャリティー募金活動実施
- ・24時間テレビ募金活動（イオン旭川西店）

③地域との関わり

- ・障害者スポーツ記録大会
- ・旭川市障害者週間記念事業参加
- ・あったかいねあさひかわ
- ・旭川冬まつり会場ボランティア
- ・学習支援教室（市内小学校）
- ・春光住民児童センター

④大会参加

- ・国際ロータリー第2500地区インターアクト地区大会
- ・高文連上川支部ボランティア研究大会
- ・高文連全道ボランティア研究大会



●文芸部

2名の卒業生を送り出し、今年度は男女各1名の新入部員を迎え、3年女子1名、2年女子1名の合計5名で活動しています。人数は減少したものの、編集レベルは確実に上がり、毎年高文連文芸コンクールの部誌部門では、高い評価をいただいております。先輩達から受け継いだ熱い思いや、在校生の向上を目指す創意工夫が作品の仕上がりや年々優れたものになっています。

昨年度は上川支部文芸大会が8月29日に開催され、特に2・3年生が活躍しました。その後、10月6・8日に札幌で開催された全道大会でも3年生が健闘し小説部門では副部長（木戸）の『襲来した熱』が優秀賞という栄誉をいただきました。

今年度も「書く」ことへの情熱や編集へのこだわりを念頭に、卒業生に続くべく部員一同、互いに高め合いながら、自分たちの最善を尽くして、それぞれの作品そしてそれらを統合させた今できる最良の部誌を作り上げることが目標に活動していきます。

○高文連上川支部文芸研究大会

小説部門	木戸拓治	優秀賞
詩部門	砂野真佑	優秀賞
	野村千尋	佳作
短歌部門	野村千尋	佳作
俳句部門	砂野真佑	優秀賞
	木戸拓治	佳作
部誌部門	全道推薦	
○高文連全道文芸コンクール		
小説部門		
木戸拓治	『襲来した熱』	優秀賞
文芸部誌部門		金賞

●放送局

KHKこと私たち放送局は、1年生4人、2年生5人、3年生3人、顧問の佐々木先生、副顧問の山本先生で活動しています。放送局の活動内容としては、呼び出し放送、北高祭での音響、準備期間や当日の撮影、ビデオ編集を行っています。

また行事の他にも、旭川駅前イオンで行われる街中映画祭や年に2回ある大会に参加しています。今年のNHK放送コンテスト旭川地区大会では、アナウンス部門2位、ラジオドキュメント・ラジオドラマ部門3位、テレビドキュメント部門4位に入賞することができました。現在は、函館で行われる全道大会に向け日々奮闘中です。

これからも努力を重ね、先輩方が築いた伝統を受け継ぎながら、さらに活躍できるよう頑張りたいです。

●写真部

こんにちは、写真部です。

今年は1年生が8名入部し、2年生8名、3年生4名の合計20名で活動中です。

昨年度から活動の幅を広げることを目標とし、今年度は月のテーマを決め、そのテーマに沿った写真を撮影するという活動も始めています。

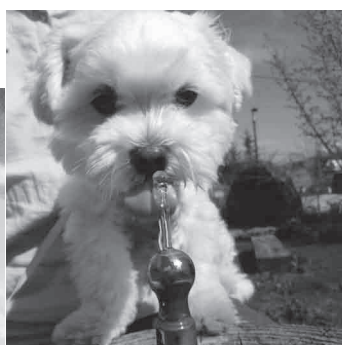
また、学校祭展示においての文芸部とのコラボレーション作品については、昨年までは単写真の作品のみを作成していましたが、今年は「私達が撮った組写真に詩をつけてもらう」という新たな試みに挑戦しています。単写真とは、1枚の写真作品のことで、組写真とは、あるテーマに沿った2枚以上の写真を組み合わせた作品のことです。

今後活動を通して、より良い写真を撮影していくよう努力します。

○平成28年度高文連上川支部写真展・研究大会
銅賞（1年長尾たまみ）

入選（3年三上彰太、2年中野由唯、杉山夏菜）

○平成28年度高文連第40回全道高等学校写真展・研究大会（帯広市）
入選（3年三上彰太）



入選した写真作品

●理科実験研究部

私達理科実験研究部は3年生が4人、2年生が4人、1年生が7人、計15人の個性豊かなメンバーで構成されています。部員間の仲も良く、部室にはいつも笑顔と活気

で満ち溢れています。では、そんな私達が普段どんな活動を行っているのか、それを次に紹介します。

私達の活動は、大きく分けて、3つの要素に分かれています。まず、1つめは生徒自らの手で行う多種多様な実験です。顧問の先生が、用意した実験や、部員が興味を持った実験を中心としてとり行い、化学への理解に努めています。2つめは様々なイベントへの参加と公演です。昨年度はショッピングセンターや旭川市科学館で実験を行いました。前述した雰囲気も相まって、多くの人に楽しんでもらっていると自負しています。そして3つめ、我々の活動の集大成とも言える全道大会への出場です。そこで良い成績をとるために夏休みに入る頃には、より熱心に研究を行っています。その成果もあってか、前年度の大会では、全ての論文で奨励賞を頂くことが出来ました。このような結果につながったのは、顧問を初めとする先生方の協力は元より、先輩方が指導してくださったことによる経験が生きたのだと思います。3年生はあと少しで引退し、理研部はまた新たな体制で再スタートを切るようになります。最高学年である私達3年生はその姿を見届けることは出来ませんが、私達が得た物を後輩達を感じ取り、また次の世代へと受け継いでくれたら。そうなることを切に願いつつ、残された時間を使っていきたいです。

●応援団

北高応援団は、男子の応援団と女子のチアリーディング部から構成されています。活動目的は、スタルヒン球場での野球応援で、全校生徒の応援の先導役をすることです。現在、応援団は12名、チアリーディン

グ部は31名で活動しています。

応援団は団員が少ないため、歴代、少林寺拳法部の男子が団員を兼部してくれまう。チアリーディング部は、学生合同文化祭や音楽大行進など、地域イベントのいくつかにも参加し、大変、好評を博しています。ダンスが身近な世代のせい、ここ数年、個人の技量が非常に高くなっています。何はともあれ、また北高野球部が甲子園に出場して、精一杯応援できることが団員の夢です。

●新聞局

新聞局の局員は現在6名。少人数ではありますが、これまで主に学校行事を中心に記事にして発行を重ねてきました。

取り上げた内容は「校内英語スピーチ大会」・「見学旅行」・「教育実習生の紹介」などです。また、生徒が直接、関わることで、あまりない校長先生にインタビューをして、その素顔を紹介し、「噂の検証」という題で、北高のシベリアと呼ばれる旧体育館につながる廊下は、実際にどれくらい寒いのかを調べた特集記事を書くなど少しずつ新しい取り組みも増やしています。さらに、学校祭だよりを定期的に発行し、学校祭の内容や実行委員のメッセージを全校生徒に伝える行事に対して意識を高めてもらおうと努めています。

これまで、全道大会にも参加して、北海道高等学校新聞コンクールでは平成23年には奨励賞、平成25年には優秀賞をいただいています。

新聞の定期的な発行を始めてから現在で7年目。顧問と生徒も新聞作りを一から学びながら制作に取り組んでいます。研修会に参加して指導を受け、他校の新聞に学び

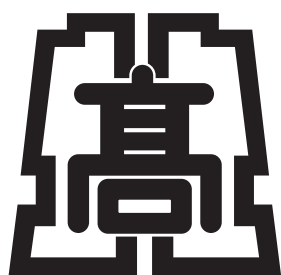
ながら、前回よりもさらによいものを目指に活動中です。これからの校内の話題を新聞記事にして面白い新聞作りを目指していきたいと思っています。どうかよろしくお願いします。

●生徒会執行部

旭川北高の生徒会執行部は現在、3年生12名、2年生17名、1年生5名の計34名で活動しています。私たちは学校行事の運営を行っています。その中でも北高祭の運営を最大として活動しています。今年は1年生が7クラスとなったので、今まで通りの運営方法では上手くいかず、1年以上も前から今年の運営方法を考えてきました。私たちはこれまで多くの行事を運営するにあたって、例年通りに行い、成功させることが良いことだと思っていました。が、今年の学校祭を経験したことで、常に新しいことに挑戦する姿勢の大切さを学ぶことができました。また、執行部は学校祭以外にも、新人生歓迎会や体育大会、クリスマスイベントなど、多岐にわたり運営しています。

活動していくにあたり、私たちは行事の成功を目標にしていますが、それはただ何事もなく、無事に行事を終わらせれば良いという意味ではありません。生徒や地域の方に心から楽しんでもらえているか、当日までの過程はどうであったかなどの意味も含まれています。もちろん、毎回行事が成功するわけではありません。しかしその度に問題点や解決策を出し、しっかりと自分たちで反省することで、次の運営に繋がっていきます。私たち北高執行部は、他の学校の生徒会と比べ人数が多いため、自分たちでできる範囲が広く、昔から自分たちで考え、行動してきました。しかし、執行部は決して

私たちだけで活動できるものではありません。生徒の皆さん、職員の方、そして地域の皆さんのご協力があって成り立ちます。私たちはそのことを忘れず、活動していきます。私たちはこれからも学校のため、生徒のために日々の努力を惜しみません。同窓生の皆様もお時間をごさいましたら、是非、私たちの活動を見に来てください。北高生一同、心よりお待ちしております。最後になりましたが、これからも旭川北高校生徒会執行部をよろしくお願いします。



旭川北高

同窓会役員・幹事名簿

●同窓会役員名簿

役職名	氏名	卒業期
顧問	山形 積治	北 8
顧問	西館 勝友	北13
顧問	八重樫和裕	北18
顧問	川島 崇則	北18
会長	尾崎 信彦	北25
副会長	村本 定範	北25
副会長	潮 日出夫	北25
副会長	吉村 千鳥	北25
副会長	山本 淳一	北28
副会長	近藤 博之	北43
会計監査	中村 悦郎	北16
会計監査	市山 力三	北17
会計監査	庄司 和晴	北18
総務部長	田中 充	北25
総務副部長	市川 陽一	北22
総務副部長	菅原 徹	北32
総務副部長	小枝 万美	北32
総務副部長	城 裕一	北25
総務副部長	水口 貴浩	北39
会計部長	富田 公裕	北25
会計副部長	園田 和宏	北33

役職名	氏名	卒業期
文化部長	木村 公俊	北25
文化副部長	山中いつ子	北19
文化副部長	鈴木 弥生	北25
文化副部長	平間 明鑑	北26
文化副部長	小菅千賀子	北29
文化副部長	赤松 浩恵	北30
校内担当	油屋 正	北29
校内担当	本田 晴樹	北32
札幌会会長	武田 寛	北16
札幌会副会長	風間 透	北17
札幌会事務局	松原 幹昌	北31
東京会顧問	丹保冬司夫	北13
東京会会長	山口 哲男	北18
東京会副会長	柿林 博司	北22
東京会幹事長	石井 英郎	北18
東京会副幹事長	趙 京子	北18
東京会会計部長	谷尾 和江	北18
東京会事務局	植松 俊一	北18
東京会事務局	桜井 伸正	北21
東京会事務局	佐藤 みき	北23
岩手会会長	牛崎 鏖二	北 6

●各期幹事長名簿【定時制課程】

卒業年度	期	氏名
昭32定卒	1	山崎 安光
昭33定卒	2	小泉 貢
昭34定卒	3	
昭35定卒	4	谷口 省一
昭36定卒	5	小林 成吏
昭37定卒	6	金山 紘一
昭38定卒	7	森下 義治
昭39定卒	8	窪田 冠治
昭40定卒	9	小野寺 勤
昭41定卒	10	小林 輝雄
昭42定卒	11	千葉青次郎
昭43定卒	12	田村 篤
昭44定卒	13	神藤 茂晴
昭45定卒	14	松田 誠
昭46定卒	15	深谷富美雄
昭47定卒	16	奥山 寿雄
昭48定卒	17	錦川 敏文
昭49定卒	18	堀井 敏明
昭50定卒	19	千村 敦雄
昭51定卒	20	
昭52定卒	21	小柳 智弘
昭53定卒	22	菅野 敏彦
昭54定卒	23	泉 誠
昭55定卒	24	柴田 仁
昭56定卒	25	川方 和人
昭57定卒	26	中原 泰司

卒業年度	期	氏名
昭58定卒	27	山中 敏行
昭59定卒	28	日塔 浩之
昭60定卒	29	太田 房枝
昭61定卒	30	入野 直美
昭62定卒	31	上林山健次
昭63定卒	32	篠原 誠
平 1 定卒	33	窪田 竜三
平 2 定卒	34	新見 稔
平 3 定卒	35	西尾 悟
平 4 定卒	36	浅井 智希
平 5 定卒	37	大橋 恵子
平 6 定卒	38	早川 立人
平 7 定卒	39	細川 勝巳
平 8 定卒	40	遠藤 智康
平 9 定卒	41	菅原臣一郎
平10定卒	42	岡本 香織
平11定卒	43	渡辺加代子
平12定卒	44	日野 洋一
平13定卒	45	島崎 匡世
平14定卒	46	福島 達
		多田 妙子
平15定卒	47	白田 由佳
		船田 美咲
平16定卒	48	眞田 功嗣
		白井 道恵
平17定卒	49	渡辺 勇太

卒業年度	期	氏名
平17定卒	49	田中 裕梨
平18定卒	50	齊藤 尚也
		越山 宏恵
平19定卒	51	小松 純
		笠間まどか
平20定卒	52	大槻 法仁
		石神 明希
平21定卒	53	澤田 涼子
		釜澤 佑紀
平22定卒	54	阿部 貴大
		三浦 淑美
平23定卒	55	白河 卓也
		村岡 愛恵
平24定卒	56	船越 信幸
		大野 春花
平25定卒	57	衛藤 顕太
		辻 江梨花
平26定卒	58	佐藤 健児
		及川 紗希
平27定卒	59	川田 雄也
		千葉 智生
平28定卒	60	千葉藤吉郎
平29定卒	61	今野 玲奈
		今野 修人
		高瀬 弘里

●各期幹事長名簿【全日制課程】

卒業年度	期	役職名	氏名
昭21卒	市中1		
昭22卒	市中2	幹事長	吾妻 充
		副幹事長	西村 廣
		副幹事長	畠山 昇子
昭23卒	市中3	幹事長	谷口 孝
昭24卒	市高1	副幹事長	石崎 一夫
		幹事	北原 高男
昭25卒	市高2	幹事長	工藤 博視
昭26卒	1	幹事長	伊藤 努
昭27卒	2	幹事長	林 徹男
昭28卒	3	幹事長	小川 幹雄
		副幹事長	五十嵐 正
昭29卒	4	幹事長	干場 武司
昭30卒	5	幹事長	波岸 順子
昭31卒	6	幹事長	阿部 信行
		副幹事長	九軒 勝志
昭32卒	7	幹事長	瀬川 哲男
昭33卒	8	幹事長	黒須 昌子
昭34卒	9	幹事長	鈴木 紀明
昭35卒	10	幹事長	中村 秀雄
		副幹事長	武田 泰治
昭36卒	11	幹事長	谷中 則親
昭37卒	12	幹事長	杉本 宗敏
		副幹事長	細谷美代子
昭38卒	13	幹事長	石田 邦光
昭39卒	14	幹事長	城 章一
昭40卒	15	幹事長	横山 直史
昭41卒	16	幹事長	廣田 秀美
		副幹事長	斉藤佐智枝
昭42卒	17	幹事長	加藤 修
		副幹事長	大川 孝一
		副幹事長	石田由美子
昭43卒	18	幹事長	庄司 和晴
		副幹事長	池田 定博

卒業年度	期	役職名	氏名
昭44卒	19	幹事長	植村 俊幸
		副幹事長	鳴海 範子
昭45卒	20	幹事長	林 仁彦
昭46卒	21	幹事長	石田 悟
昭47卒	22	幹事長	菊地 一孝
昭48卒	23	幹事長	青山 隆之
昭49卒	24	幹事長	小泉 英一
昭50卒	25	幹事長	山内 一頼
昭51卒	26	幹事長	煙山 泰也
昭52卒	27	幹事長	野村 寛
昭53卒	28	幹事長	持丸 昭郎
昭54卒	29	幹事長	今宮 克明
昭55卒	30	幹事長	原田 一志
昭56卒	31	幹事長	西分 健二
昭57卒	32	幹事長	澤田 俊哉
昭58卒	33	幹事長	久保 友孝
昭59卒	34	幹事長	飛騨野文彦
昭60卒	35	幹事長	児玉 賢一
昭61卒	36	幹事長	江渕 賢一
昭62卒	37	幹事長	高田 和憲
昭63卒	38	幹事長	武田 要
平 1 卒	39	幹事長	水口 貴浩
平 2 卒	40	幹事長	富樫 明樹
平 3 卒	41	幹事長	村田 朋輝
平 4 卒	42	幹事長	細山 崇
平 5 卒	43	幹事長	下本 康子
平 6 卒	44	幹事長	山本 幸枝
平 7 卒	45	幹事長	武田 奈央
平 8 卒	46	幹事長	上北 泰志
平 9 卒	47	幹事長	長町 康隆
平10卒	48	幹事長	松井 智弘
平11卒	49	幹事長	池田 謙治
平12卒	50	幹事長	阿部 好幸
平13卒	51	幹事長	宇井 辰徳

卒業年度	期	役職名	氏名
平14卒	52	幹事長	大友 健司
		副幹事長	五十嵐 桂
平15卒	53	幹事長	野田 仁哉
		副幹事長	村田 友哉
平16卒	54	幹事長	楠美 拓也
		副幹事長	中条百合子
平17卒	55	幹事長	北川 智貴
		副幹事長	荒井麻菜実
平18卒	56	幹事長	和賀 裕則
		副幹事長	鈴木 宏始
平19卒	57	幹事長	福森 翔太
		副幹事長	菅野 雅俊
平20卒	58	幹事長	川西 雄太
		副幹事長	伊藤真奈美
平21卒	59	幹事長	泉澤 知宏
		副幹事長	大谷 冬馬
平22卒	60	幹事長	和賀 俊太
		副幹事長	平間 建多
平23卒	61	幹事長	島田 沙理
		副幹事長	佐藤 公耶
平24卒	62	幹事長	丸尾 秀樹
		副幹事長	平岡はるな
平25卒	63	幹事長	東崎 千晶
		副幹事長	吉澤 圭祐
平26卒	64	幹事長	渡辺 悠介
		副幹事長	金子ちひろ
平27卒	65	幹事長	古屋 龍
		副幹事長	下原みのり
平28卒	66	幹事長	吉野竜太郎
		副幹事長	田口 春香
平29卒	67	幹事長	白崎 優太
		副幹事長	三井 沙那

幹事の皆様大変ご苦勞様です

◎各期幹事に異動がありましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

【自 宅】〒070-0876 旭川市春光6条2丁目4-2 田 中 充

TEL (0166) 55-0931 携帯電話 090-7650-8061

【勤務先】旭川市立忠和中学校

TEL (0166) 61-5300



当 番 期

第52回 同窓会実行委員長

北高41期 村田 朋輝

本日の同窓会の開催に当たりまして、御挨拶申し上げます。本日の御来場、会券の御購入、広告御協賛、会誌への御寄稿など、同窓会の開催に向け快く御協力くださいました皆様のおかげをもちまして無事本会を開催出来ましたこと、心から御礼申し上げます。また、不慣れな私たちに暖かく手を差し伸べてくださった同窓会本部並びに先輩幹事の皆様方にも厚く御礼申し上げます。

をよそに実行委員会はすんなり立ち上がりました。手探りで情報をかき集め、今年1月には70人ほどの同期会を開催するところまでたどり着きました。この同期会を機に同窓会の準備に関わってくれた人数も増え、また違った不安が芽生えました。「これだけの人数をコントロールできるのか?」と。幸い、この不安は杞憂に終わりました。それぞれの担当が助け合いながら「北高魂」を胸に準備を進めてくれていたのがすごく伝わってきました。

思い返せば二十数年前、卒業間近に打診された同窓会の幹事長。断り切れずにそのまま卒業。5年前のサブ期で言葉にならない不安を覚え、気付けば昨年9月の引継ぎ式。まさかこんな日が本当に来るなんて…と不安は最高潮に。さらに、引継ぎで受け取ったたくさん分厚い資料は、その不安を揺るがないものになりました。

早速、卒業後も連絡を取り続けている仲間を頼り、早い段階で20人ほどで集まることができ、不安

そして、今日この日を迎えることができました。今は違った意味で「こんな日が来るなんて!」と喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。「41期のみんな、ホントにありがとう!」

最後に、旭川北高及び北高同窓会の更なる御発展と、在校生と同窓生の皆様のますますの御活躍を心より祈念し、当番期代表の御挨拶とさせていただきます。



次期当番期

第53回 同窓会実行委員長

北高42期 細山 崇

第52回旭川北高等学校同窓会が開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、第42期同窓会幹事長の細山崇と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。西神楽中学校出身の私は、他に6人の仲間たちとJR富良野線で通学しておりました。田舎育ちの私にとって北高での3年間は、知り合う友が増えるにつれ、たくさん刺激を受け、胸躍る幸せな毎日でした。その反面、学業には中々身が入らず、「あこがれの北高」に入学できたまではよかったのですが、大学受験の頃になっても確固とした目的が定まらず、悶々とした日々を送っていたものです。しかし、楽しくも悩み多き時代だったからこそ、何でも語り合えた友の存在が自分を支えてくれたのだと改めて思います。

そんな二十数年前の卒業間近のある日、各クラスの代表幹事が進路指導室に集められました。苦しい沈黙の末、当時私の担任であつ

た吉崎先生の「ひと押し」で、幹事長という大役が私に決まったのでした。これも何かの縁ということで、私自身、本当に微力ではございますが、精一杯、幹事長としての努めを果たしていかなければ、身の引き締まる思いでございます。来年はいよいよ、私たち42期が当番となり、伝統ある北高同窓会の準備を進めていく番となりました。二十数年の時を越え、今一度仲間たちの結束を固め、社会人として培ってきた各々の力を持ち寄り、一丸となって同窓会の成功に向けて力を尽くしてまいります。会員の皆様におかれましては、ご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、旭川北高並びに旭川北高同窓会のさらなるご発展と本日の同窓会の盛会を祈念いたしまして次期当番期幹事長のご挨拶とさせていただきます。

たくさんのご協賛 誠にありがとうございます ございました

第52回 旭川北高等学校同窓会実行委員会



2017北高祭ブース



また来年お会いしましょう



第52回 旭川北高同窓会総会

北高魂



旭川北高41期一同

北高同窓会公式ウェブサイト

<http://kitako-dousou.com>

応 援 歌



応 援 歌

高橋国二 作詞
熊崎清志 作曲

一、熱せる血潮や
健児の気

栄誉燦たり
その名も高き
(北市高中)の

戦わん意気も
我が友よ
火の如し

二、見おや祖国の
中堅と

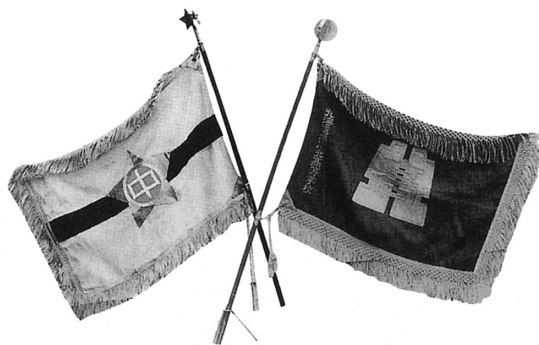
その名も高き
鍛えあげたる
(北市高中)の

邀える敵も
我が選手
何のその

三、青空高き
グラウンドに

優勝の旗うち振りて
天にも轟く
万才の

勝関あげむ
我を見よ



旭川北高同窓会だより 第41号 平成29年8月12日発行

発行所／旭川北高等学校同窓会（旭川市花咲町3）

発行人／同窓会会長 尾崎 信彦

編集／旭川北高等学校同窓会文化部・旭川北高等学校同窓会第52回総会実行委員会

印刷／株総北海 旭川市工業団地2条1丁目1番23号 TEL(0166)36-5556

第52回 旭川北高等学校 同窓会総会

◇総会次第

1. 開 会 の こ と ば
2. 校 歌 斉 唱
3. 来 賓 紹 介
4. 同 窓 会 会 長 挨 拶
5. 来 賓 挨 拶
6. 議 長 団 選 出
7. 議 事
 - (1) 会 務 報 告
 - (2) 会 計 報 告
 - (3) 会 計 監 査 報 告
 - (4) 役 員 改 選
 - (5) 新 旧 役 員 挨 拶
 - (6) 次 期 当 番 期 紹 介
 - (7) そ の 他
8. 議 長 団 退 任
9. 招 待 期 へ の 記 念 品 贈 呈
10. 閉 会 の こ と ば

◇懇親会次第

1. 開 会 の こ と ば
2. 実 行 委 員 長 挨 拶
3. 開 演
 - (1) 応 援 歌 斉 唱
 - (2) 乾 杯
 - (3) アトラクション
4. 次 期 当 番 期 代 表 挨 拶
5. 閉 会 の こ と ば
6. 結 び (北 高 万 歳 三 唱)